

**2020 年度**  
**大学院要項**  
**スポーツ健康学研究科**

**法政大学大学院**

# スポーツ健康学研究科のめざすもの

スポーツ健康学研究科長 永木 耕介

健康は、言うまでもなく人々の日常の諸活動を支える基本であるが、疾病・傷害の予防や対処の問題だけではなく、高齢化に伴う健康寿命の問題や子どもの健全な発育発達に関わる問題等々、改善に取り組んでいかなければならない国家的課題が山積している。

またスポーツは、古来から肉体的にも精神的にも人類の根源的な欲求を満たしてきた文化であるが、その教育・指導の仕方を間違えれば、生命に関わる重大な事故を引き起こしかねず、健全な精神も育たない。ドーピング、暴力・体罰、勝利至上主義等、スポーツが抱えるマイナスが絶えない中で、教育者・指導者は常に「スポーツによる人間性の向上」という課題を忘れずに歩む必要がある。一方、スポーツはオリンピックやワールドカップにみるように、グローバル化によってもはや世界共通の産業となっている。そこでは、ヒト・モノ・カネ・情報が常に行き交い、それらを健全に管理し運営していくための理論と実践が求められている。

以上のような今日の状況に鑑み、2009年に開設した法政大学スポーツ健康学部では、人々の健康に関わる学的体系としての「ヘルスデザインコース」、体育・スポーツの指導に関わる学的体系としての「スポーツコーチングコース」、スポーツ産業に関わる学的体系としての「スポーツビジネスコース」を設置し、これら3つの角度から「スポーツ健康学」へのアプローチを可能としている。

そして、2016年に開設した本研究科では、学部において修得できる基礎的・基本的な知識・技能に加えて、より高度で専門的な知識・技能を有する職業人の養成を目指している。カリキュラム・ポリシーとして、生涯を通じた積極的な健康づくりを支援するための「ヘルスプロモーション科目群」、競技スポーツや教育現場において高度な指導能力を発揮するための「スポーツコーチング科目群」、スポーツの組織づくりや「する・みる・支える・知る」の一体化を図っていくための「スポーツマネジメント科目群」を配置し、これらの科目を柔軟に履修できるように設けている。また、「スポーツ健康学演習(ゼミ)」では高い教育研究力を有する指導教員のもとで特定の研究テーマを掘り下げながら、得られた研究成果を複数回に及んで公開する。大学院生はこれらの学びによって、幅広い知識とともに「深い思考力」と「優れた実践力」を身に付け、さらに「表現力・説明力」を養うことができるはずである。

本研究科における学びを通して、「スポーツ・健康」の未来を担う優秀な人材となり、社会に貢献していただくことを期待する。

# 目次

## 第1章 大学院の概要

1. 目的 …………… 1
2. 組織 …………… 1

## 第2章 年間スケジュール

1. 2020年度学年暦 …………… 2
2. 2020年度授業回数早見表 …………… 3
3. 申請手続き早見表 …………… 4
4. 修士論文作成までの流れ …………… 5

## 第3章 スポーツ健康学研究科教員組織

1. 教員組織 …………… 6
2. 専任教員紹介 …………… 7

## 第4章 カリキュラム

1. 授業科目一覧表 …………… 15
2. カリキュラム構成図 …………… 16

## 第5章 修了要件

1. 修士課程 …………… 17
2. 修了者に授与される学位 …………… 17

## 第6章 授業について

1. キャンパス・教室 …………… 18
2. 授業時間 …………… 18
3. 授業回数 …………… 18
4. 授業科目の選択 …………… 18
5. 学習支援システムの利用 …………… 18
6. 休講 …………… 20

## 第7章 履修について

1. 授業科目の登録 …………… 22
2. 秋学期科目の履修変更 …………… 22
3. ユーザID …………… 22
4. 他研究科（他専攻）科目の履修 …… 22
5. ERP（英語強化プログラム）  
の受講 …………… 23
6. 日本語科目（研究科共通）の開講 …… 23

## 第8章 指導教員について

1. 指導教員の登録 …………… 24
2. 指導教員の変更 …………… 24

## 第9章 成績について

1. 試験 …………… 25
2. 成績評価 …………… 25
3. GPA制度 …………… 25
4. 進級・修了発表・成績発表 …………… 26
5. 成績調査 …………… 26

## 第10章 修士論文について

1. 修士論文審査スケジュール …………… 27
2. 各種提出物作成要領 …………… 28
3. スポーツ健康学研究科 修士課程  
学位論文審査基準 …………… 30

## 第11章 研究倫理審査について

1. 研究倫理審査の申請について …… 31
2. 研究倫理委員会要綱 …………… 31

## 第12章 教職資格について

1. 専修教育職員免許状取得 …………… 37
2. 1種教育職員免許状取得 …………… 38

## 第13章 留学について

1. 法政大学大学院における留学制度 …… 41
2. 法政大学派遣留学制度 …………… 41
3. 交換研究員制度 …………… 41
4. グローバル教育の推進について …… 41

## 第14章 学籍について

1. 在学期間 …………… 43
2. 休学 …………… 43
3. 退学 …………… 44
4. 除籍 …………… 44
5. 復学・復籍 …………… 44
6. 転研究科・転専攻 …………… 44
7. 留学生 …………… 45

## 第15章 学費について

1. 学費 …………… 46

## 第16章 奨学金・助成金制度について

1. 奨学金 …………… 48
2. 研究助成金 …………… 49
3. チューター制度  
（外国人留学生対象） …………… 50
4. ゼミで契約宿舎を利用する場合の  
宿泊費補助 …………… 50

## 第17章 学生生活について

1. 事務担当部局 …………… 51
2. 学生証（身分証明書） …………… 52
3. 各種証明書 …………… 52
4. 各種届出 …………… 53
5. 学割 …………… 53
6. 紛失物、拾得物、盗難届 …………… 54
7. 大学院生研究室の利用 …………… 54
8. 学生食堂、売店の利用について …… 54
9. 喫煙について …………… 54

## 第18章 各種施設

1. 図書館	55
2. スポーツ健康学部棟情報実習室・ カフェテリア	56
3. 総合情報センター	56
4. 保健課	57
5. グローバル教育センター事務部	58
6. 研究開発センター	58
7. 経理課	58
8. キャリアセンター	59
9. スポーツ健康学部資料室	59
10. 校外諸施設	60

## 第19章 大学の取り組み

法政大学プライバシーポリシー	62
障がい学生支援室	63
ハラスメント相談室	63
学生相談室	65
グリーン・ユニバーシティ をめざして	66

## 第20章 資料

法政大学大学院諸規則一覧	67
法政大学・大学院の概要	68
校舎案内図	71
交通案内図	80



# 第1章 大学院の概要

## 1. 目的

法政大学大学院は、高度にして専門的な学術の理論及び応用を教授研究し、榮譽ある学芸の殿堂としてひろく世界の文化を摂取し、知識の深奥を究め、もって世界平和と人類の福祉に寄与することを目的とする。(大学院学則第1条)

本大学院の課程は、修士課程及び博士後期課程からなり、それぞれの目的は以下のとおりです。

修士課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力、又は高度の専門性を要する職業等に必要の能力を養うことを目的とする。(大学院学則第3条)

博士後期課程は、専攻分野について、研究者として自立した研究を行い、又はその他の専門的業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。(同上)

なお、各専攻ごとの「人材養成その他教育研究上の目的」については、大学院学則〔別表V〕をご覧ください。

## 2. 組織

本大学院（専門職学位課程を除く）の研究科及び専攻の構成は次のとおりです。

研究科	専攻	課程	
人文科学研究科	哲学専攻	修士課程（昼夜開講）	博士後期課程（昼夜開講）
	日本文学専攻	修士課程（昼夜開講）	博士後期課程（昼夜開講）
	英文学専攻	修士課程（昼夜開講）	博士後期課程（昼夜開講）
	史学専攻	修士課程（昼夜開講）	博士後期課程（昼夜開講）
	地理学専攻	修士課程（昼夜開講）	博士後期課程（昼夜開講）
	心理学専攻	修士課程 ※一部夜間開講	博士後期課程 ※一部夜間
	国際日本学インスティテュート	修士課程（昼夜開講）	博士後期課程（昼夜開講）
国際文化研究科	国際文化専攻	修士課程（昼夜開講）	博士後期課程（昼夜開講）
経済学研究科	経済学専攻	修士課程（昼夜開講）	博士後期課程（昼夜開講）
法学研究科	法律学専攻	修士課程	博士後期課程
政治学研究科	政治学専攻	修士課程 ※一部夜間開講	博士後期課程
	国際政治学専攻	修士課程	
社会学研究科	社会学専攻	修士課程（昼・夜間）	博士後期課程
経営学研究科	経営学専攻	修士課程（昼・夜間）	博士後期課程（昼・夜間）
キャリアデザイン学研究科	キャリアデザイン学専攻	修士課程（夜間）	
公共政策研究科	公共政策学専攻	修士課程（夜間）	博士後期課程（夜間）
	サステイナビリティ学専攻	修士課程（夜間）	博士後期課程（夜間）
政治学／公共政策	連帯社会インスティテュート ※1	修士課程（夜間）	
理工学研究科	機械工学専攻	修士課程	博士後期課程
	電気電子工学専攻	修士課程	博士後期課程
	応用情報工学専攻	修士課程	博士後期課程
	システム理工学専攻	修士課程	博士後期課程
	応用化学専攻	修士課程	博士後期課程
	生命機能学専攻	修士課程	博士後期課程
工学研究科	機械工学専攻 ※2	修士課程	博士後期課程
	物質化学専攻 ※2	修士課程	博士後期課程
	電気工学専攻 ※2	修士課程	博士後期課程
	建設工学専攻 ※2	修士課程	博士後期課程
	システム工学専攻 ※2	修士課程	博士後期課程
情報科学研究科	情報科学専攻	修士課程	博士後期課程
情報科学／理工学	総合理工学インスティテュート (IIST)	修士課程	博士後期課程
デザイン工学研究科	建築学専攻	修士課程	博士後期課程
	都市環境デザイン工学専攻	修士課程	博士後期課程
	システムデザイン専攻	修士課程（昼夜開講）	博士後期課程（昼夜開講）
人間社会研究科	福祉社会専攻	修士課程 ※一部夜間開講	
	臨床心理学専攻	修士課程	
	人間福祉専攻		博士後期課程
政策創造研究科	政策創造専攻	修士課程（夜間）	博士後期課程（夜間）
スポーツ健康学研究科	スポーツ健康学専攻	修士課程	

※1 政治学専攻または公共政策学専攻のいずれかに所属します。

※2 既に新生の募集を停止しています。

本大学院の運営組織は、次の機関から構成されている。

研究科教授会：研究科の主要な学事を審議する。

研究科長会議：総長、副学長（大学院担当）、研究科長によって構成し、大学院の研究教育に関する事項を審議する。

## 第2章 年間スケジュール

### 1. 2020年度学年暦 スポーツ健康学研究科

4月 1日 (水)	学年開始・春学期開始 【4月10日(金) 創立記念日はガイダンスを実施】 【4月29日(水) 昭和の日, 5月5日(水) こどもの日は授業を実施しない】 【4月30日(木) レクリエーションデーにより休講】 【5月1日(金) は4月10日(金) 創立記念日の振替により休講】 【5月4日(月) みどりの日, 5月6日(水) 憲法記念日の振替休日, 7月23日(木) 海の日 は授業実施】 【7月24日(金) スポーツの日 は休講】	
4月 3日 (金)	入学式 (中止)	
4月 21日 (火)	春学期授業開始	
7月 18日 (土)	春学期補講日	
7月 20日 (月) ～7月 28日 (火)	春学期集中授業	
7月 28日 (火)	春学期授業終了	
7月 29日 (水) ～9月 17日 (木)	夏季休業期間 春学期終了	
9月 11日 (金) ～9月 17日 (木)	オータムセッション	
9月 12日 (土)	9月修了学位記交付式	
9月 18日 (金)	秋学期開始・秋学期授業開始 【9月21日(月) 敬老の日, 9月22日(火) 秋分の日 は授業実施】 【10月17日(土) は大学祭のため休講】 【11月 3日(火) 文化の日, 11月23日(月) 勤労感謝の日 は授業を実施しない】 【11月11日(水) は多摩スポーツフェスティバルのため休講】	
12月 24日 (木) 12月 25日 (金) ～1月 7日 (木)	年内授業終了 冬季休業期間	
1月 8日 (金)	秋学期授業再開 【1月11日(月) 成人の日 は授業を実施しない(休日)】	
10月 16日 (金) 11月 5日 (木) 1月 16日 (土) 1月 21日 (木) 1月 23日 (土)	} 秋学期補講日	
1月 25日 (月) ～2月 2日 (火)		秋学期集中授業
2月 1日 (月) 2月 2日 (火) ～3月 31日 (水)		秋学期授業終了 春季休業期間
3月 24日 (水) 3月 31日 (水)		学位授与式 秋学期終了・学年終了

※上記期間以外に集中授業や発表会を実施する場合があります。

## 2. 2020年度授業回数早見表 スポーツ健康学研究科

### 春学期

	月	火	水	木	金	土
第1回	4/27	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25
第2回	5/4	4/28	5/6	5/7	5/8	5/2
第3回	5/11	5/12	5/13	5/14	5/15	5/9
第4回	5/18	5/19	5/20	5/21	5/22	5/16
第5回	5/25	5/26	5/27	5/28	5/29	5/23
第6回	6/1	6/2	6/3	6/4	6/5	5/30
第7回	6/8	6/9	6/10	6/11	6/12	6/6
第8回	6/15	6/16	6/17	6/18	6/19	6/13
第9回	6/22	6/23	6/24	6/25	6/26	6/20
第10回	6/29	6/30	7/1	7/2	7/3	6/27
第11回	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	7/4
第12回	7/13	7/14	7/15	7/16	7/17	7/11

【4/10(金)創立記念日は5/1(金)に振替】

【4/29(水)昭和の日、5/5(水)こどもの日は授業を実施しない】

【4/30(木)はレクリエーションデーにより休講】

【5/1(水)は4/10(金)創立記念日の振替により休講】

【5/4(月)みどりの日、5/6(水)憲法記念日の振替休日、7/23(木)海の日は授業を実施】

【7/24(金)スポーツの日は休講】

\* 7/18(土)…春学期補講日

### 秋学期

	月	火	水	木	金	土
第1回	9/21	9/22	9/23	9/24	9/18	9/19
第2回	9/28	9/29	9/30	10/1	9/25	9/26
第3回	10/5	10/6	10/7	10/8	10/2	10/3
第4回	10/12	10/13	10/14	10/15	10/9	10/10
第5回	10/19	10/20	10/21	10/22	10/23	10/24
第6回	10/26	10/27	10/28	10/29	10/30	10/31
第7回	11/2	11/10	11/4	11/12	11/6	11/7
第8回	11/9	11/17	11/18	11/19	11/13	11/14
第9回	11/16	11/24	11/25	11/26	11/20	11/21
第10回	11/30	12/1	12/2	12/3	11/27	11/28
第11回	12/7	12/8	12/9	12/10	12/4	12/5
第12回	12/14	12/15	12/16	12/17	12/11	12/12
第13回	12/21	12/22	12/23	12/24	12/18	12/19
第14回	1/18	1/12	1/13	1/14	1/8	1/9

【9/21(月)敬老の日、9/22(火)秋分の日は授業を実施】

【10/17(土)は大学祭のため休講】

【11/3(火)文化の日、11/23(月)勤労感謝の日、1/11(月)成人の日は授業を実施しない】

【11/11(水)は多摩スポーツフェスティバルのため休講】

\* 10/16(金)、11/5(木)、1/16(土)、1/21(木)、1/23(土)…秋学期補講日

\* 12/25(金)～翌年1/7(木)…冬季休業期間

### 3. 申請手続き早見表

	提出書類	手続き時期	対象者
授業および研究指導に関するもの	履修登録*	4月21日(火)～4月27日(月) (予定)	全在籍者(履修科目の有無によらない)
	履修登録確認(Web)・履修登録訂正期間	5月7日(木)、5月8日(金) (予定)	全在籍者
	指導教員承認届	4月17日(金)までに、事務課に提出	新入生
	指導教員変更届	随時	希望者
学籍・学生生活に関するもの	休学願	5月末日	年間休学・春学期休学希望者
	休学願 退学願(学生証添付)	10月末日	秋学期休学希望者
		5月末日	(前年度)退学希望者
	退学願(学生証添付) 住所・勤務先変更届	10月末日	春学期退学希望者
		随時	該当者
改姓届(住民票添付)	随時	該当者	

\*履修登録はWebでの登録とします。詳細は「情報システム(Web履修登録申請)操作ガイド」を参照してください。

## 4. 修士論文作成までの流れ

日程は変更する場合もあるので、必ず掲示で確認してください。

修士1年

4月上旬

新入生ガイダンス

- ・ 修士論文執筆に向けた具体的な見通しを持つ



10月下旬

10/27 (火)

修士論文 構想発表会

- ・ 修士論文の構想について発表する
- ・ 質問・コメントをもとにした議論・指導を行う



研究テーマの最終決定

- ・ 具体的な研究テーマを定める

修士2年



4月下旬

修士論文 計画発表会

- ・ 修士論文の計画について発表する
- ・ 質問・コメントをもとにした議論・指導を行う



9月下旬

修士論文 中間発表会

- ・ 修士論文の目的、方法、結果の概要について発表する
- ・ 質問・コメントをもとにした議論・指導を行う



12月中旬

修士論文(初稿)の提出

- ・ 主・副指導教員によるチェックを行う



1月中旬

修士論文および要旨の提出

- ・ 完成した修士論文を提出する



1月下旬

修士論文 最終発表会

- ・ 完成した修士論文を発表する
- ・ 修士論文審査員を含む専任教員による審査を行う



1月下旬

口頭試問

- ・ 修士論文審査員による口頭試問を行う



3月上旬

合否判定・修士課程修了者の  
発表

- ・ 教授会によって合否判定をして発表



3月24日

学位授与式

### 第3章 スポーツ健康学研究科教員組織

#### 1. 教員組織

修士課程 スポーツ健康学専攻	
教授	安藤 正 志 泉 重 樹 莉 俊 二 鬼 部 明 木 頭 光 高 下 太 永 見 介 中 木 史 平 澤 一 山 野 裕 浩
准教授	伊藤 藤 真 紀 井 上 尊 寛 越 智 英 輔 瀬 戸 宏 明 林 田 宏 市 吉 田 容 幸
専任講師	ネメシュ ローランド
兼担教授	荒井 弘 和
兼担准教授	山田 快
兼任講師	赤堀 宏 幸 石 井 隆 憲 飯 田 麻 紗 海老島 徳 子 海老名 徳 均 小清水 孝 雪 笹 井 浩 子 行

## 2. 専任教員紹介（50音順）

教員名	安藤 正志 教授
専門領域	運動療法, リハビリテーション, スポーツ傷害, 運動器疾患の評価と治療
研究テーマ	徒手療法, 中高年者の運動療法, リハビリテーション医学
担当科目	運動器疾患特論
研究室	353号室
オフィスアワー	水曜日 9:30~12:55
主な業績・著書	出版: 標準徒手医学, 運動学実習, 運動器疾患の理学療法, 論文: 運動器疾患におけるトリガーマッピングの紹介. 標準徒手医学会誌 1. 11-15, 2018. 徒手的軟部組織刺激が可動域に及ぼす影響. 標準徒手医学会誌 1. 20-24, 2014. 徒手的軟部組織刺激が筋弾性に及ぼす影響. 標準徒手医学会誌 1. 15-19, 2014. 遠心性収縮ストレッチング法による関節可動域改善の即時的効果. 標準徒手医学会誌 1. 6-9, 2014. 軟部組織性可動域制限における短縮性障害と伸張性障害の発生率. 日本スポーツリハビリテーション学会誌. 7, 19-23, 2018. 伸縮性テープが疼痛緩和と可動域に及ぼす影響. 日本スポーツリハビリテーション学会誌. 7, 25-29, 2018. など
学会活動	理学療法科学学会, 日本スポーツリハビリテーション学会, 標準徒手医学会, ドイツ徒手医学会, 日本理学療法士協会, など

教員名	泉 重樹 教授
専門領域	アスレティックトレーニング, スポーツ医学, 鍼灸学
研究テーマ	体幹の機能とエクササイズ評価, スポーツ外傷・障害予防, スポーツ鍼灸
担当科目	アスレティックトレーニング特別演習
研究室	461号室
オフィスアワー	水曜日 13:30~17:00 それ以外の時間でも在室時は対応します。
主な業績・著書	Shigeki Izumi, Kotoko Shirakawa, Naoki Taguchi, Yuki Kasugai: Muscle activity of lower extremities and the trunk while doing unilateral squats with ViPR. European College of Sports Science, Prague. 2019/7/3-6 Shigeki IZUMI, Koji KANEOKA, Toshikazu MIYAMOTO, Yu OKUBO, Shumpei MIYAKAWA: Electromyographic and Kinematic Trunk Analysis of Boxing during a Dominate Straight Punch. Bulletin of Sports and Health Studies Hosei University. 9, 65-72, 2018 Shigeki Izumi, Yasuhisa Kaneko, Hinata Sakuraba, Hiroshi Kondo: Does the muscle output of an antagonist improve by inserting needles in an agonist?. International Conference of World Federation of Acupuncture-Moxibustion Societies Tokyo/Tsukuba 2016, Tsukuba. 2016/11/5-6
学会活動	European College of Sports Science, 日本臨床スポーツ医学会, 日本アスレティックトレーニング学会, 日本体力医学会, 全日本鍼灸学会

教員名	伊藤 真紀 准教授
専門領域	スポーツマネジメント
研究テーマ	スポーツにおけるリーダーシップ, アスリートのキャリア構築, 女性スポーツ
担当科目	スポーツ組織行動特論/スポーツ団体構造特論, スポーツフィールドスタディー演習
研究室	454号室
オフィスアワー	火曜日 13:00~15:00 それ以外の時間でも在室時は対応します。
主な業績・著書	<p>1. Itoh, M., Akiko, N., Ogaswara, E., &amp; Hums, M.A. (2018). Realizing Identity and Overcoming Barriers: Factors Influencing Female Japanese Paralympians to Become Coaches. <i>International Journal of Sport and Health</i></p> <p>2. Itoh, M., Bower, G.G., &amp; Hums, M. A. (2017). Career experiences of women working in Paralympic sport organizations internationally. <i>Advancing Women in Leadership</i>, 37, 20-28.</p> <p>3. Itoh, M., &amp; Hums, M.A. (2016). Why do women work in the management of professional baseball? In B. Pitts &amp; J. Zhang (eds.). <i>Global sport management</i> (pp. 135-150). London: Taylor &amp; Francis.</p> <p>4. 渡邊夏美・小笠原悦子・新井彬子・伊藤真紀・鯉川なつえ・鈴木大地 (2016) 社会認知的進路理論に基づく女性のコーチングキャリア選択. 順天堂スポーツ健康科学研究 第8巻1号、1-14.</p>
学会活動	北米スポーツマネジメント学会, 日本スポーツマネジメント学会

教員名	井上 尊寛 准教授
専門領域	スポーツマネジメント, スポーツマーケティング, スポーツ消費者行動
研究テーマ	スポーツ観戦者の観戦行動, プロ・スポーツクラブのマーケティング戦略
担当科目	スポーツ産業学特論, スポーツマーケティングリサーチ演習
研究室	351号室
オフィスアワー	月曜日 11:30 ~ 12:40
主な業績・著書	<p>Jリーグ観戦者調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よくわかるスポーツマーケティング(ミネルヴァ書房)</li> <li>・スポーツ白書 2017(笹川スポーツ財団)</li> <li>・The relationship between perceived social media marketing activities of J. League clubs and behavior intention of spectators. <i>Asian Sports Management Review</i> volume 11, Asian Association for Sport Management.</li> <li>・フィギュアスケート観戦のプロダクト構造 : 競技的要素に着目して, スポーツマネジメント研究、第8巻、1号.</li> </ul>
学会活動	日本スポーツマネジメント学会, 北米スポーツマネジメント学会(NASSM)

教員名	越智 英輔 准教授
専門領域	運動生理学, 応用健康科学
研究テーマ	運動や栄養介入による骨格筋・血管の応答・適応変化に関する研究
担当科目	本年度は研究専念年度のため, 講義科目を担当しません。
研究室	スポーツ健康学部棟に研究室はありません。
オフィスアワー	本年度は講義科目を担当しないため, オフィスアワーは設けておりません。
主な業績・著書	<p>Ochi E, Ueda H, Tsuchiya Y, Kouzaki K, Nakazato K. Eccentric contraction-induced muscle damage in human flexor pollicis brevis is accompanied by impairment of motor nerve. Scand J Med Sci Sports. 2020;30 (3):462-471.</p> <p>Morishima T, Tsuchiya Y, Iemitsu M, Ochi E. High-intensity resistance exercise with low repetitions maintains endothelial function. Am J Physiol Heart Circ Physiol. 2018;315(3):H681-H686.</p> <p>Kikuchi N, Tsuchiya Y, Nakazato K, Ishii N, Ochi E. Effects of the ACTN3 R577X genotype on the muscular strength and range of motion before and after eccentric contractions of the elbow flexors. Int J Sports Med. 2018;39 (2):148-153.</p> <p>Tsuchiya Y, Yanagimoto K, Nakazato K, Hayamizu K, Ochi E. Eicosapentaenoic and docosahexaenoic acids-rich fish oil supplementation attenuates strength loss and limited joint range of motion after eccentric contractions: a randomized, double-blind, placebo-controlled, parallel-group trial. Eur J Appl Physiol. 2016;116(6):1179-88.</p> <p>Ochi E, Nosaka K, Tsutaki A, Kouzaki K, Nakazato K. Repeated bouts of fast velocity eccentric contractions induce atrophy of gastrocnemius muscle in rats. J Muscle Res Cell Motil. 2015;36(4-5):317-27.</p>
学会活動	<p>日本体力医学会</p> <p>日本運動・スポーツ科学学会</p> <p>American College of Sports Medicine</p> <p>European College of Sport Science</p> <p>American Physiological Society</p>

教員名	苅部 俊二 教授
専門領域	スポーツコーチング学, スポーツ心理学
研究テーマ	身体運動とイメージ
担当科目	スポーツコーチング学特論
研究室	452号室
オフィスアワー	<p>月曜日 12:40~13:30</p> <p>水曜日 12:40~13:30 (体育館/苅部研究室)</p>
主な業績・著書	陸上スプリント上達のポイント50 コツがわかる本(メイツ出版)、こどもチャレンジ第2シリーズ はじめよう!陸上競技(ベースボール・マガジン社)
学会活動	日本体育学会、日本スプリント学会、日本陸上競技学会、日本スポーツ心理学会、日本コーチング学会

教員名	鬼頭 英明 教授
専門領域	学校保健, 健康教育, 公衆衛生
研究テーマ	健康教育, 喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育, 性教育, 保健管理
担当科目	公衆衛生学特論, 学校保健学特論, 保健体育科教育法特別演習
研究室	463号室
オフィスアワー	火曜日 13:00~15:00
主な業績・著書	健康教育の理論と実践—わが国と外国の事例をもとに—, 2018 学校保健の動向, 日本学校保健会, 2018 学校保健マニュアル, 南山堂, 2019 教育の危機管理 (週間教育資料) 年4回程度 中学校学習指導要領による医薬品に関する授業実践研究, 上田裕司, 鬼頭英明, 西岡伸紀, 富岡剛, 学校保健研究, 55, 220-227, 2013 慢性疾患のある児童生徒が学校生活を送るための効果的な支援のあり方, 小児保健研究, 73, 860-868, 2014 危険ドラッグも視野に入れた薬物乱用防止教育のあり方, 鬼頭英明, 公衆衛生, 79, 250-254, 2015
学会活動	日本学校保健学会, 日本健康教育学会, 日本教育実践学会, 日本トキシコロジー学会, 日本小児保健学会, 日本教科教育学会

教員名	木下 訓光 教授
専門領域	スポーツ医学, 循環器病学
研究テーマ	スポーツ心臓, アスリートの突然死, 運動処方, 生活習慣病の運動療法, 持久系スポーツの医科学, 女性選手の三徴, アスリートのエネルギー代謝・energy availability
担当科目	スポーツ健康学特論II (自然科学)
研究室	459号室
オフィスアワー	火曜日 14:00~14:30
主な業績・著書	Kinoshita N, Fukuda R. Secular trend in thinness prevalence for 26 years (1989 - 2014) among high school runners in Japan. (Asian J Sports Med. 2016;7(4):e35970) Kinoshita N, Katsukawa F, Yamazaki H. Modeling of longitudinal changes in left ventricular dimensions among female adolescent runners. (PLoS One. 2015;10(10):e0140573) Pelliccia A, Kinoshita N, Pisicchio C, et al. Long-term clinical consequences of intense, uninterrupted endurance training in Olympic athletes. (J Am Coll Cardiol 2010;55:1619) Kinoshita N, Onishi S, Yamamoto S, et al. Unusual left ventricular dilatation without functional or biochemical impairment in normotensive extremely overweight Japanese professional Sumo wrestlers. (Am J Cardiol 2003;91:699) Kinoshita N, Mimura J, Obayashi C, et al. Aortic root dilatation in young competitive athletes: echocardiographic screening of 1,929 athletes between 15 and 34 years of age. (Am Heart J 2000;139:723) Kinoshita N, Yamazaki H, Onishi S, et al. Physiological profile of middle-aged and older climbers who ascended Gasherbrum II, an 8035-m Himalayan peak. (J Gerontol 2000;55:M630)
学会活動	日本内科学会 日本臨床スポーツ医学会 日本循環器学会 日本医師会 日本体力医学会 日本糖尿病学会 American College of Sports Medicine European College of Sport Science

教員名	瀬戸 宏明 准教授
専門領域	スポーツ医学, 整形外科
研究テーマ	運動器傷害に対する予防と再生について
担当科目	スポーツ健康学特論Ⅱ (自然科学)
研究室	460号室
オフィスアワー	水曜日 15:20~16:50
主な業績・著書	Seto H, et al. Distinct roles of Smad pathways and p38 pathways in cartilage-specific gene expression in synovial fibroblasts The Journal of Clinical Investigation. 2004. Sep; 13(5): 718-726 Nagao M, Seto H, et al Headless compression screw fixation of jones fractures: an outcomes study in Japanese athletes. Am J Sports Med 2012 40(11):2578-2582
学会活動	ISAKOS、 JOSKAS、 臨床スポーツ医学会、日本整形外科学会、日本整形外科スポーツ医学会

教員名	高見 京太 教授
専門領域	運動生理学, 発育発達学
研究テーマ	子どもの活動や生活習慣と体力・健康づくりに関する研究, 刑務所の受刑者に対する一般改善指導として実践する健康づくり運動に関する研究
担当科目	発育発達学特論
研究室	352号室
オフィスアワー	月曜日 14:00~16:00
主な業績・著書	中高生における運動および体育に対する好き嫌いの実態と要因の観点から「よい体育の授業」を検討する. 法政大学スポーツ健康学研究 9, 49-63, 2018. 行動変容を促す教育実践 ~生活行動を意識した保健授業~. 子どもと発育発達 16/2, 102-107, 2018. 健康運動指導士試験 要点整理と実践問題, 第IV章 運動生理学(分担執筆). 稲次潤子(監修), 文光堂 2018.
学会活動	日本体力医学会、日本体育学会、日本発育発達学会、ACSMほか

教員名	永木 耕介 教授
専門領域	スポーツ教育学
研究テーマ	教材文化論, 武道教育論
担当科目	スポーツ教育学特論, 保健体育科教育法特別演習
研究室	451号室
オフィスアワー	金曜日 10:30~12:00
主な業績・著書	『嘉納柔道思想の継承と変容』(単著、風間書房、2008) 『現代スポーツは嘉納治五郎から何を学ぶのかーオリンピック・体育・柔道の新たなビジョンー』(共著、ミネルヴァ書房、2014) 『よくわかるスポーツ倫理学』(共著、ミネルヴァ書房、2017) 「柔道授業における心理社会的学習成果評価尺度の開発」(共著、体育学研究 Vol. 62, No. 1, pp. 323-337. 2017)
学会活動	体育学会、武道学会、スポーツ教育学会、体育科教育学会ほか

教員名	中澤 史 教授
専門領域	スポーツ心理学
研究テーマ	アスリート・スポーツチームの心理支援（スポーツメンタルトレーニング、スポーツカウンセリング）、体育授業・運動部活動の心理学
担当科目	本年度は研究専念年度のため、講義科目を担当しません。
研究室	652 研究室
オフィスアワー	水曜日 昼休み
主な業績・著書	アスリートの心理学（単著、日本文化出版、2016）、スポーツメンタルトレーニング教本・三訂版（分担執筆、大修館書店、2016）、アスリートの心の強化法：指導者・選手のためのメンタルトレーニングの理論と方法（DVD 監修、ティアンドエイチ株、2016）、新版 TEG II 活用事例集（分担執筆、金子書房、2009）、ジュニアスポーツの心理学（共訳、大修館書店、2008）、改訂スポーツ・体育学概論（共著、こくぼ、2006）、他
学会活動	日本体育学会、日本スポーツ心理学会、日本交流分析学会、日本心理学会、日本質的心理学会、日本教育心理学会、Asian-South Pacific Association of Sport Psychology、他

教員名	ネメシュ ローランド 専任講師
専門領域	コーチング学・指導方法・体育方法学・ハンドボール
研究テーマ	コーチング学、トップレベル選手の育成・GCA (Game Centred Approach) メソッド
担当科目	スポーツトレーニング学特論
研究室	354 号室
オフィスアワー	木曜日 13:45~15:30
主な業績・著書	ネメシュ・ローランド、會田宏：ハンガリーにおけるハンドボールの一貫指導システム：7歳から12歳までの指導プログラムに着目して。ハンドボールリサーチ、1: 31-39, 2012 Roland Nemes: Scoring efficiency development of two Japanese U21 national players, regarding 1:1 with the goalkeeper. European Handball Federation Master Coach thesis, 2014 長野翔大、ネメシュ・ローランド、藤本元、會田宏：ハンドボール競技における強豪国と日本の一貫指導プログラムに関する比較研究。コーチング学研究 第30巻第2号、109-123, 2017 Miller A, Harvey S, Morley D, Nemes R, Janes M, Eather N: Exposing athletes to playing form activity: outcomes of a randomized control trial among community netball teams using a game-centred approach. Journal of Sport Sciences, 35: 1846-1857, 2017-18
学会活動	日本体育学会、日本コーチング学会、日本ハンドボール学会

教員名	林 容市 准教授
専門領域	体力学, 生理心理学
研究テーマ	身体活動・スポーツ動作の知覚・認知と運動制御、生理的状态と心理的情報の対応、種々の身体パフォーマンスに関する体力の測定・評価
担当科目	健康体力学特論, 体力・機能測定評価演習
研究室	6階 共同研究室
オフィスアワー	木曜日 13:00~13:30 (1階 講師室にて受け付ける)
主な業績・著書	業績: 林 容市 他, 感覚系の特性に関連した最近の課題, 電子情報通信学会誌 102 (8): 801-804, 2019; 林 容市 他, 就学段階ごとの運動経験が大学生における把握の調整力に及ぼす影響, 体育測定評価研究 18, 35-46, 2019 等 著書: 「エクササイズ科学-健康体力つくりと疾病・介護予防のための基礎と実践- (田中喜代次他)」, 2011; 「健康づくりのための体力測定評価法 (田中喜代次他)」, 2007 等
学会活動	日本体育学会, 日本体力医学会, 日本体育測定評価学会, American College of Sports Medicine 他

教員名	平野 裕一 教授
専門領域	スポーツバイオメカニクス, トレーニング科学
研究テーマ	投打動作の分析, 瞬発的なパワー発揮を向上させるための筋力トレーニング
担当科目	スポーツ運動学特論, スポーツバイオメカニクス特論
研究室	458号室
オフィスアワー	水曜日 11:00~15:00
主な業績・著書	著書: 打つ科学、スポーツバイオメカニクス、運動指導の科学、科学する野球 ・平野裕一: 「野球選手にみられる障害」、宮下充正編「疲労と身体運動」、杏林書院、東京、pp84-91、2018. 論文: ・設楽佳世、勝亦陽一、熊川大介、池田達昭、平野裕一: ジュニアアスリートにおける体幹筋断面積の年齢差および種目競技差: シニアアスリートとの比較から. 体力科学、66(1):87-100, 2017. ・勝亦陽一、設楽佳世、飯田悠佳子、鳥居 俊、高井洋平、平野裕一: 中学生期におけるトップ野球選手の成熟度. 発育発達研究、74:26-33, 2017. ・星川雅子、内田 直、平野裕一: 日本人トップアスリートの海外遠征とコンディショニング - 質問紙調査の結果から - . 日本臨床スポーツ医学会誌、25(3):435-444, 2017. ・熊野陽人、大沼勇人、平野裕一: 走幅跳の試技前に行う全力疾走が助走および跳躍距離に与える即時的影響. トレーニング科学、29(1):23-31, 2017. ・勝亦陽一、設楽佳世、熊川大介、袴田智子、中里浩介、池田達昭、平野裕一: 日本人男性一流競技者における除脂肪量指数 (FFMI) および脂肪量指数 (FMI) の競技種目差. トレーニング科学、29(4):317-327, 2018.
学会活動	日本体育学会、日本バイオメカニクス学会、日本トレーニング科学会、日本体力医学会、日本コーチング学会、日本野球科学研究会

教員名	山本 浩 教授
専門領域	コミュニケーション論, ジャーナリズム論
研究テーマ	スポーツの構造, スポーツ報道
担当科目	スポーツジャーナリズム特論
研究室	456号室
オフィスアワー	(春学期)火曜日 11:10~12:50 (秋学期)水曜日 15:30~17:10
主な業績・著書	ワールドカップのメディア学 (共著/大修館書店 2003年)、NHK アナウンスセミナー (共著/NHK 出版 2005年)、メキシコの青い空 (新潮社 2007年)、実況席のサッカー論 (共著/出版芸術社 2007年)、続・実況席のサッカー論 (共著/出版芸術社 2009年)、よくわかるスポーツ文化論 (共著/ミネルヴァ書房 2012年)、スポーツアナウンサー～実況の真髄～ (岩波書店 2015年)、21世紀スポーツ大事典 (共著/大修館書店 2015年)、放送席から見た日本代表の進化論 (祥伝社 2017年)、「羅針盤」山陰中央新報隔月コラム
学会活動	日本体育学会、DGzPRsport (ドイツスポーツ歯科予防医学会/Germany)

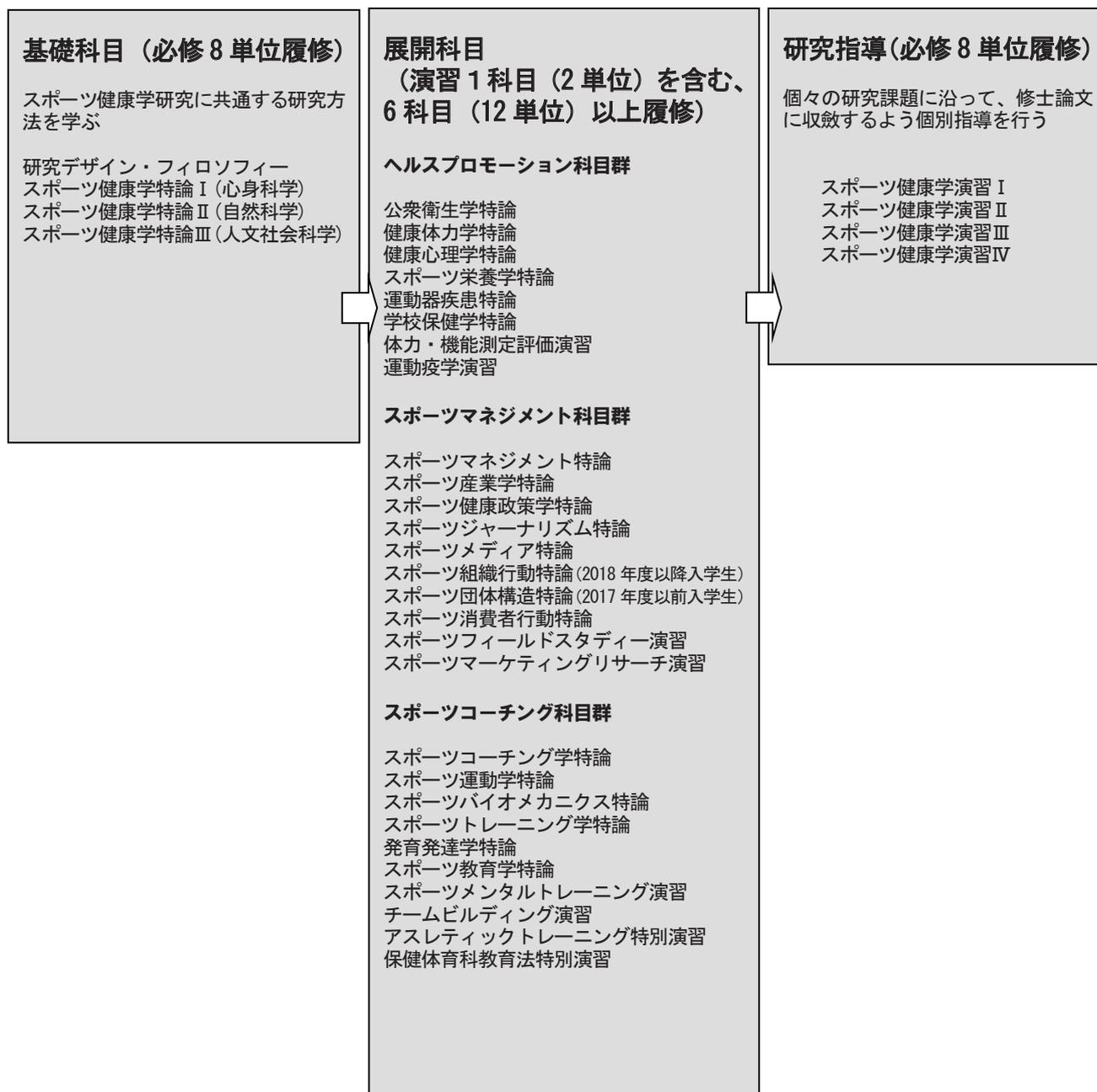
教員名	吉田 政幸 准教授
専門領域	スポーツマネジメント, スポーツマーケティング
研究テーマ	スポーツ消費者のソーシャルキャピタル, スポーツレガシー尺度の開発, スポーツ観戦を通じたウェルビーイングの向上
担当科目	スポーツマネジメント特論, スポーツ消費者行動特論
研究室	455号室
オフィスアワー	木曜日 13:00~15:00 それ以外の時間でも在室時は対応します。
主な業績・著書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Yoshida, M., Gordon, B.S., Nakazawa, M., Shibuya, S., &amp; Fujiwara, N. (2018). Bridging the gap between social media and behavioral brand loyalty. <i>Electronic Commerce Research and Applications</i>, 28(2), 208-218.</li> <li>2. Yoshida, M. (2017). Consumer experience quality: A review and extension of the sport management literature. <i>Sport Management Review</i>, 20(5), 427-442.</li> <li>3. 吉田政幸・仲澤眞・岡村敬子・吉岡那於子 (2017) スポーツファンの誇り：プロサッカーとプロ野球における検証. <i>スポーツマネジメント研究</i>, 9(1): 3-21.</li> <li>4. Yoshida, M., Heere, B., &amp; Gordon, B. (2015). Predicting behavioral loyalty through community: Why other fans are more important than our own intentions, our satisfaction, and the team itself. <i>Journal of Sport Management</i>, 29(3), 318-333.</li> <li>5. Yoshida, M., Gordon, B., Nakazawa, M., &amp; Biscaia, R. (2014). Conceptualization and measurement of fan engagement: Empirical evidence from a professional sport context. <i>Journal of Sport Management</i>, 28, 399-417.</li> </ol>
学会活動	北米スポーツマネジメント学会, 日本スポーツマネジメント学会, 日本マーケティング学会

# 第4章 カリキュラム

## 1. 授業科目一覧表

科目区分	授業科目の名称	単位	配当年次	
基礎科目	研究デザイン・フィロソフィー	2	1春	
	スポーツ健康学特論Ⅰ(心身科学)	2	1・2春	
	スポーツ健康学特論Ⅱ(自然科学)	2	1・2春	
	スポーツ健康学特論Ⅲ(人文社会科学)	2	1・2秋	
展開科目	ヘルスプロモーション科目群	公衆衛生学特論	2	1・2秋
		健康体力学特論	2	1・2秋
		健康心理学特論	2	1・2春
		スポーツ栄養学特論	2	1・2春
		運動器疾患特論	2	1・2春
		学校保健学特論	2	1・2春
		体力・機能測定評価演習	2	1・2春
		運動疫学演習	2	1・2春
	スポーツマネジメント科目群	スポーツマネジメント特論	2	1・2春
		スポーツ産業学特論	2	1・2春
		スポーツ健康政策学特論	2	1・2秋
		スポーツジャーナリズム特論	2	1・2秋
		スポーツメディア特論	2	1・2春
		スポーツ組織行動特論(2018年度以降入学生)	2	1・2秋
		スポーツ団体構造特論(2017年度以前入学生)		
		スポーツ消費者行動特論	2	1・2秋
		スポーツフィールドスタディー演習	2	1・2春
		スポーツマーケティングリサーチ演習	2	1・2秋
	スポーツコーチング科目群	スポーツコーチング学特論	2	1・2秋
		スポーツ運動学特論	2	1・2春
		スポーツバイオメカニクス特論	2	1・2秋
		スポーツトレーニング学特論	2	1・2秋
		発育発達学特論	2	1・2秋
		スポーツ教育学特論	2	1・2秋
		スポーツメンタルトレーニング演習	2	1・2秋
		チームビルディング演習	2	1・2秋
		アスレティックトレーニング特別演習	2	1・2春
		保健体育科教育法特別演習	2	1・2秋
	研究指導	スポーツ健康学演習Ⅰ	2	1春
		スポーツ健康学演習Ⅱ	2	1秋
スポーツ健康学演習Ⅲ		2	2春	
スポーツ健康学演習Ⅳ		2	2秋	

## 2. カリキュラム構成図



## 第5章 修了要件

### 1. 修士課程

#### (1) 修了要件

修士の学位を得ようとする者は、2年以上在学しスポーツ健康学研究科においては32単位以上、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査並びに最終試験に合格しなければならない。  
(大学院学則第22条から抜粋)

#### (2) 他専攻設置科目の履修について

他の専攻に設置する科目についても関連する科目を履修し、これを修了所要単位に含めることができます。ただし、この場合は、修了までに10単位を限度とし、あらかじめ担当教員および指導教員の承認を必要とします。

#### (3) 単位修得方法

単位を修得し、修了要件を満たすことが基本となります。単位は、履修を修了した科目について、平素の学習状況、出席状況、および筆記試験又はレポート・論文などによる成績評価の結果、合格した場合に与えられます。

### 2. 修了者に授与される学位

研究科 (Graduate School of **)	専攻 (Major in **)	課程 (Course)	学位 (Degree)
スポーツ健康学 Sports and Health Studies	スポーツ健康学 Sports and Health Studies	修士 Master's Course	修士 (スポーツ健康学) Master of Arts (Sports and Health Studies)

## 第6章 授業について

### 1. キャンパス・教室

主に多摩キャンパススポーツ健康学部棟の教室を使用します。

### 2. 授業時間

大学院における教育は、開講科目の授業と、学位論文の作成等に関する研究指導によって行われます。授業は下記の時限に行います。

第1時限	9:20～11:00
第2時限	11:10～12:50
第3時限	13:40～15:20
第4時限	15:30～17:10
第5時限	17:20～19:00

### 3. 授業回数

#### (1) 通年開講科目

週1時限開講し、年間28回を標準として授業を行います。

#### (2) 2期制開講科目（春学期・秋学期）

- ① 各期週1時限開講し、合計14回を標準として授業を行います。
- ② 授業によっては、14回の授業を集中もしくは隔週で行います。

※科目によって上記以外の変則的な開講形態（集中授業等）をとることもあるので、担当教員の指示に従ってください。

※2020年度春学期は授業開始日の変更に伴い、授業回数は12回となるため、不足回数分は代替措置により対応する。

### 4. 授業科目の選択

春学期授業は4月21日から始まります（2020年度に限る）。

授業開始までに本冊子、Webシラバス、時間割をよく読んで授業科目を選択し、初回授業には必ず出席してください。Web履修登録申請は授業2週目から始まりますので、1週目で授業科目を選択できるように予め準備してください。

Webシラバス URL	<a href="https://syllabus.hosei.ac.jp">https://syllabus.hosei.ac.jp</a>
-------------	---

### 5. 学習支援システムの利用

授業を補助するツールとして、「学習支援システム」を導入しています。教材の配布、レポートや小テストの実施、授業に関するお知らせ等を行うシステムです。

学習支援システムを通じた教材の配布、レポートや小テストの実施等はすべての授業で利用しているわけではなく、授業によって利用の有無がありますので担当教員に確認してください。

### ①学習支援システムへのアクセス

法政ポータルサイト (Hoppii) より【学習支援システム】へログイン

The screenshot shows the Hoppii portal interface. At the top right, there is a notification: "学習支援システム・Web掲示板へのログインはこちら 統合認証(SSO) それ以外(NoSSO)". The main content area is divided into three columns. The left column contains a "ようこそ" (Welcome) section with a list of university services like "法政大学公式サイト", "通信教育部", "全学ネットワークシステム", "図書館", "学生センター", "キャリアセンター", "総合情報センター", "情報メディア教育研究センター", "教育開発支援機構", "FD推進センター", and "学習環境支援センター". Below these are links for "情報システム(成績・履修)", "ウェブシステム(PC)", "ウェブシステム(SE)", "Webシラバス", "Webメール", and "授業改善アンケート". The middle column, titled "大学からのお知らせ", lists campus information: "【市ヶ谷キャンパス】", "【小金井キャンパス】", and "【多摩キャンパス】". The right column, titled "各種リンク", lists various resources: "履修の手引き (PDF)", "シラバス一覧 (PDF)", "教室設備ガイド", "Turnitin利用申込 (教職員)", "Turnitinログイン", "授業支援ボックス (教員)", "アカデミック・サポート", "グループウェアdesknet's (教職員)", "授業支援アシスタント登録", "授業用教材印刷代行", "学習支援ハンドブック", "ピア・ラーニング・スペース", "学術研究データベース", and "お問い合わせ一覧".

法政ポータルサイト (Hoppii) はこちら⇒  
[Hosei portal to pick up information](https://hoppii.hosei.ac.jp)



<https://hoppii.hosei.ac.jp>

### ②学習支援システムに関するお問い合わせ

受付時間	授業期間中：月曜～金曜 9:00 ～ 17:00 土曜 9:00 ～ 12:00 授業期間外：月曜～金曜 9:00 ～ 17:00
お問い合わせ	TEL : 03-5213-4540 E-mail : lms-hd@m1.hosei.ac.jp

### ③注意事項

- ・ 「学習支援システム」と「情報システム」は別のシステムです。履修登録より実際の授業の開始が先行しますが、「学習支援システム」に科目を登録（仮登録）したからといって履修登録（本登録）されたわけではありません。履修登録（本登録）は必ず「情報システム」から行ってください（「履修について」P.22 参照）。
- ・ 上述のとおり履修登録（本登録）に先行して授業が始まりますので、4月の授業開始から履修が確定する4月下旬までは履修登録者の情報が学習支援システムに反映されません。その間は、学習支援システムの「仮登録」機能を使って自分で登録し、学習支援システムから教材をダウンロードしてください。仮登録の方法は学習支援システム Web ガイドで確認できます。

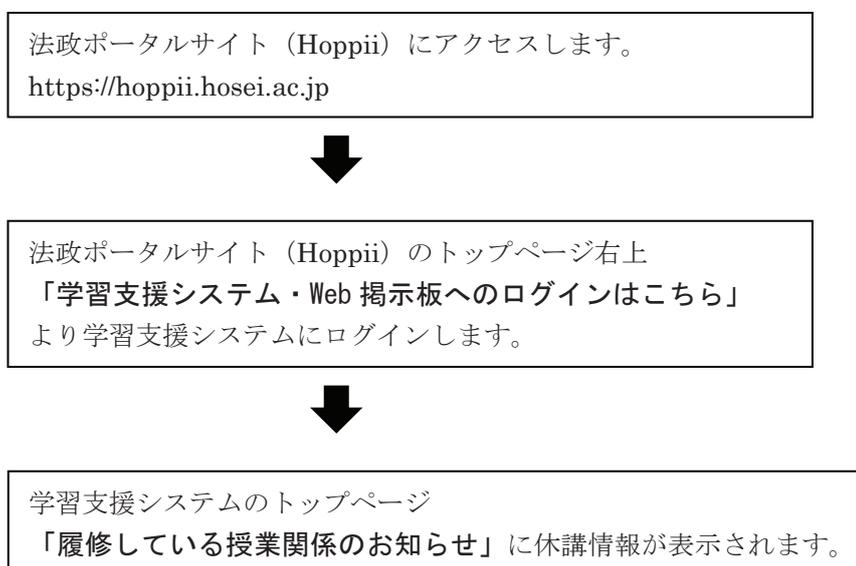
## 6. 休講

授業は、担当教員の病気や行事のために休講となることがあります。休講情報は、学習支援システムの「登録している授業関係のお知らせ」に表示されます。なお、不可抗力により教員が大学へ連絡できないことや、出席者のみに伝えて、大学に連絡していない場合もあり、特段の指示の無いまま授業開始時間から 30 分経過して担当教員が出講しない時は休講とします。

### (1) 注意事項

- ・学習支援システムの「登録している授業関係のお知らせ」には、学習支援システムに仮登録または履修登録した科目の情報（休講情報・教室変更・補講情報等）が表示されます。
- ・表示される休講情報は教員からの連絡に基づくものであり、追加や変更の可能性があります。
- ・直前に連絡のあった休講情報は反映されない場合があります。

### (2) 休講情報の確認方法



## 特別の休講措置について

### ■台風等自然災害の場合の休講措置について

法政大学では授業実施期間中に、台風や大雪等により公共交通機関に大きな乱れが生じることが予想される場合、あるいは学生の通学に危険が生じると判断した場合は、以下の通り授業を休講することがあります。

- (1) 天候悪化等により首都圏の公共交通機関に大きな乱れが生じることが予想される場合、あるいは暴風警報の発令等により通学に危険が生じると考えられる場合、大学は当日の授業の実施について協議し、その結果を以下の通り周知します。
  - a. 1・2 時限の授業について、当日 6:00 までに「法政大学広報課公式ツイッター」に休講措置の有無を掲載します。
  - b. 3 ～ 5 時限の授業について、当日 10:00 までに「法政大学広報課公式ツイッター」に休講措置の有無を掲載します。
  - c. 6・7 時限の授業について、当日 15:00 までに「法政大学広報課公式ツイッター」に休講措置の有無を掲載します。
- (2) 事前に台風上陸等により公共交通機関の大きな乱れが生じることが予想される場合は、前日 17:00 までに上記周知の方法を「法政大学広報課公式ツイッター」に掲載し、学生・教職員に周知をします。
- (3) 上記によらず、前日において翌日の授業実施に大きな影響があると判断される場合は、前日 17:00 までに翌日の休講措置の有無を決定し、「法政大学広報課公式ツイッター」に掲載することがあります。
- (4) 上記の内容は必要に応じて大学公式ホームページにも掲載します。

### ■交通機関のストライキによる休講措置について

交通機関のストライキに際しての授業の取り扱いは、次のように決められています。

- (1) JR のストライキにより JR が運行されないときは、原則として次により授業を休講とします。
  - ・ 午前 6 時までにストライキが解除されないとき、1・2 時限の授業を休講とします。
  - ・ 午前 10 時までにストライキが解除されないとき、1 ～ 5 時限の授業を休講とします。
  - ・ 正午までにストライキが解除されないとき、すべての授業を休講とします。
- (2) 上記のほか、京王線・京王バス・神奈中バスの全部またはいずれかのストライキにより、全部またはいずれかが運行されない（バスは、法政大学発着の路線が運行されない）ときは、原則として次により授業を休講とします。
  - ・ 午前 6 時までに（バスは 8 時までに）ストライキが解除されないとき、多摩キャンパスにおける 1・2 時限の授業を休講とします。
  - ・ 午前 10 時までに（バスは正午までに）ストライキが解除されないとき、多摩キャンパスにおけるすべての授業を休講とします。

### ■大規模地震の発生が予想される時

気象庁は、観測された現象が東海地震の前兆現象である可能性が高まった場合には「注意情報」を、東海地震が発生するおそれがあると認められ「警戒宣言」が発せられた場合には「予知情報」を発します。

- (1) 「注意情報」もしくは「予知情報」が発せられたとき、学生のみなさんは次のように行動してください。
  - ・ 在宅中のときは、そこにとどまり、身の安全を図る。
  - ・ 通学途中、または帰宅途中のときは、直ちに帰宅する、もしくは安全な場所に避難する。
  - ・ 在校中のときは、身の安全を図り、大学からの連絡・指示があるまで待機。
- (2) 授業の休講、再開等の情報については、「法政大学広報課公式ツイッター」でお知らせします。

この措置は、地震発生の際の被害を極力減らすためのものです。ご協力をお願いします。

## 第7章 履修について

大学院における教育は、開講科目の授業と、学位論文の作成等に関する研究指導によって行われます。

### 1. 授業科目の登録

履修登録は年1回のみです。(秋学期科目、集中授業科目についても春学期の期間内に登録してください。)

履修を希望する授業科目は、「スポーツ健康学研究科時間割」記載のものから選択し、登録してください。登録の手続きを経していない授業科目は単位及び評価ともに認定されないので注意してください。

<登録方法>

「法政大学新情報システム」の「履修申請」機能を用いた Web による履修登録申請です。指定された申請期間に履修登録申請を行ってください。詳細は、「情報システム (Web 履修登録申請) 操作ガイド」を参照してください。

### 2. 秋学期科目の履修変更

秋学期科目については、指導教員と相談・了承を得たうえ、秋学期の所定期間内に履修の変更（削除及び新規追加）をすることができます。

#### (1) 変更方法

変更する場合は、所定の期間内に Web 上で変更登録をしてください。

(申請期間等、詳細は掲示を確認すること。)

#### (2) 削除不可科目

通年科目・春学期科目

### 3. ユーザ ID

Web 履修登録は、「法政大学情報システム」を利用して行います。この情報システムにログインするために、大学が発行するユーザ ID・パスワードが必要となります。新入生にはこの ID・パスワードの通知書を、新入生ガイダンスで配付いたします。学生証と一緒に配付しますので、必ずこの期間に受け取ってください。

この ID は、履修登録のほかに、情報実習室での授業受講、情報カフェテリアの利用、貸出ノートパソコンの利用などでも使用いたします。

### 4. 他研究科（他専攻）科目の履修

他の専攻（他の研究科に属するものも含む。）に設置された授業科目については、当該授業の担当教員・指導教員の承認を得て関連ある授業科目を 10 単位を超えない範囲で履修することができます。希望する場合は以下のとおり、所定の手続きを行ってください。

① 手続き期間：4月21日（火）～4月25日（土）

② 提出書類：「他研究科科目履修登録票」（事務課にて配付します。）

※他キャンパスの授業を履修する場合、授業時間が異なりますので十分注意してください。

## 5. ERP（英語強化プログラム）の受講

ERP（英語強化プログラム）は、グローバル教育センターが提供する、ネイティブスピーカーを中心とした講師による英語スキルの養成とその結合を目的としたプログラムです。将来、海外留学や国際的な企業・機関への就職を検討している方に受講をおすすめします。

なお、大学院では単位認定の制度はありません（単位としては認められません）。

概要や受講申込方法等、詳細はグローバル教育センターのホームページ(<http://www.global.hosei.ac.jp>)で確認してください。

## 6. 日本語科目（研究科共通）の開講

修士論文を執筆するために必要なアカデミックな日本語の力を拡充するために、留学生を対象として日本語論文作成のための研究科共通科目「日本語論文作成A I～AIV」「日本語論文作成B I～BIV」を開講します。スポーツ健康学部研究科に所属する留学生は、履修し単位を修得することはできますが、修得した単位を修了所要単位に含めることはできませんのでご注意ください（履修上限なし）。

詳細は Web 掲示板で確認してください。

## 第8章 指導教員について

### 1. 指導教員の登録

#### (1) 修士課程 1年次生

ガイダンス時に配布された「指導教員承認届」に、以下に定められた期日・提出先に提出してください。

(注意) 指導教員はあくまで希望として受け付けるものであり、指導教員の希望通りの決定を約束するものではありません。

\*指導教員は、研究科教授会で検討したうえで最終的に決定し、掲示にて発表します。

**提出期日・提出先** 4月17日(金)までに事務課に提出してください。

### 2. 指導教員の変更

研究テーマ等の変更により、指導教員の変更を希望する場合には、所定の「指導教員変更届」に新旧の指導教員の承認を得て、適宜速やかに事務課に届け出てください。

# 第9章 成績について

## 1. 試験

学業成績は、筆記試験、レポート、口頭試問等により評価されます。  
試験及びレポート提出等に関しては、授業担当者が随時指示します。

## 2. 成績評価

法政大学では、下記の通り成績評価を定義しています。(2019年度より適用)

- S: 学習目標を満たし卓越した成績をあげた
- A: 学習目標を満たし優秀な成績をあげた
- B: おおむね学習目標を満たした
- C: 最低限の学習目標を満たしたが、不十分な点も見られる
- D: 学習目標を満たしていない
- E: 未受験、採点不能

各グレード内で特に留意すべき加点・減点がある場合、+-を付加します。ただし、SとDに関しては+-を使用しません。

成績評価基準は「3. GPA 制度」を参照してください。

## 3. GPA 制度

### (1) GP (grade point) について (2019年度より適用)

下記の成績評価 S、A+、A、A-、B+、B、B-、C+、C、C-、D の 11 段階と未受験・その他の場合の評価 E に、それぞれグレードポイント (Grade Point) がつきます。11 段階の成績評価と評価基準とグレードポイントの関係は次のとおりです。

	合格 (単位修得)					
成績評価	S	A+	A	A-	B+	B
評価基準	100 - 90 点	89 - 87 点	86 - 83 点	82 - 80 点	79 - 77 点	76 - 73 点
GP	4.0	3.3	3.0	2.7	2.3	2.0

	合格 (単位修得)				不合格	
成績評価	B-	C+	C	C-	D	E
評価基準	72 - 70 点	69 - 67 点	66 - 63 点	62 - 60 点	59 - 0 点	未受験・他
GP	1.7	1.3	1.0	0.7	0.0	0.0

### (2) GPA (grade point average) について

履修した科目の成績評価として S から D までの 11 段階評価がつきますが、11 段階評価を 4.0～0.0 までのポイントに置き換え、履修した単位数を掛けます。これがその科目のポイント数になります。さらに履修したすべての科目のポイント数を合計し、履修単位数で割って平均点を算出します。これが GPA (Grade Point Average) です。GPA の算出方法については次のとおりです。計算値は小数点以下第 3 位を四捨五入して表記します。

$$\text{GPA} = \frac{\text{〈履修登録した科目の GP} \times \text{その科目の単位数〉の総和}}{\text{履修登録した全科目の総単位数}}$$

### (3) GPA を表示する書類について

・成績通知書

- ① GPA (春学期・秋学期) : 各学期・セメスターの GPA
- ② 累積 GPA : 直近の学期・セメスターまでを通算した GPA
- ③ GPA (年度内) : 各年度内の GPA

・成績証明書

累積 GPA : 直近の学期・セメスターまでの在学期間を通算した GPA

### (4) 履修取消について

未受験その他による E 評価の科目は、GPA 計算式において、GP を 0 点として分子に算入し、単位数を分母に算入しますので、E 評価が多いほど GPA が低下します。シラバスを読み、履修したい科目を慎重に決めたいうえで、科目登録をしてください。一度登録した科目は責任をもって履修してください。ただし、一定期間内に手続きすれば、登録を取り消すことができます。履修取消の期限については、履修登録の際に必ず確認してください。

### (5) 不合格 (D、E 評価) になった科目の再履修

不合格 (D、E 評価) になった科目も再履修して S~C 評価を修得した場合は、それ以前の評価の代わりに、最後の成績評価のみを GPA に参入します。結果として GPA は上昇します。

## 4. 進級・修了発表・成績発表

- ① 進級・修了の発表は 3 月上旬にインターネット上で成績発表と同時に行います。
- ② 成績発表は、春学期科目については 9 月中旬、秋学期・通年科目については 3 月に行います。必ず各自で成績通知書のプリントアウトを行い、自分の成績を確認するとともに新年度の履修科目登録等の資料としてください。

## 5. 成績調査

次のような場合、事務課に申し出れば成績調査を行います。

登録した科目を受験し、また、レポート提出等の定められた義務を果たしているにもかかわらずその評価が D または E となっている場合に限り、所定の期間内 (詳細は掲示) に申し出れば調査を行います。ただし、期間外の申し出および、S~C の評価については理由の如何を問わず、調査は一切行いません。

# 第10章 修士論文について

## 1. 修士論文審査スケジュール

※下記日程は変更になる可能性もあります。実施場所や事前手続き等、詳細は掲示等で周知いたしますので、必ずご確認ください。

(1) 修士論文構想発表会 (修士1年生)

2020年10月27日 (火)

(2) 修士論文計画発表会 (修士2年生)

2020年4月20日 (月) ~ 24日 (金) 時間は調整中

(3) 修士論文中間発表会 (修士2年生)

2020年9月29日 (火) 時間は調整中

(4) 修士論文の提出 (修士2年生)

①提出日時 2021年1月12日 (火) 9:30~17:00

※時間厳守 **提出時間を過ぎた場合は理由の如何を問わず受理しません。**

②提出方法 原則、本人持参 (代理人の場合は、委任状を提出)

③提出物

- ・論文要旨 (3部) 論文に綴込、要データ送信「件名: 氏名 (論文要旨)」
- ・英文論文要旨 (3部) 論文に綴じ込み
- ・修士論文 (3部)

- ・PDFファイル (表紙・要約・本編等のすべてを1つのファイルにする) (1部)
- ・修士論文審査願

④提出場所 スポーツ健康学研究科事務課

(5) 修士論文最終発表会

2021年1月19日 (火) 時間は調整中

(6) 口頭試問の実施

2021年1月下旬 主査と相談のうえ決定

(7) 修士論文の評価確定

2021年2月上旬に開催されるスポーツ健康学研究科教授会

(8) 修士論文 (研究科保存用) の提出

①提出期限 2021年2月19日 (金)

②提出物

- ・ファイルに綴じない状態の修士論文 (1部) (カラー印刷可)
- ・PDFファイル (表紙・要約・本編等のすべてを1つのファイルにする) (1部)

③提出場所 スポーツ健康学研究科事務課

## 2. 各種提出物作成要領

各種提出物の指定書式は大学院ホームページに掲載しています。様式が変更になる場合もありますので、必ず最新の書式をダウンロードし、提出してください。(大学院ホームページについては55頁を参照すること)

### (1) 修士論文 構想書・計画書・中間報告書

- 所定の様式(後掲)を必ず使用してください。
- 学生証番号、氏名、主指導教員、副指導教員、論文題目、発表の概要を記入して下さい。
- 発表の概要には、必要に応じて資料を掲載し、参考文献も記載して下さい。
- 字数制限は設けませんが、A4判2枚までを目安とします。

### (2) 修士論文

#### ①表紙

所定の見本にならって、題目、氏名、指導教員を記入して下さい。

#### ②形式

- 原稿は、文書作成ソフトで作成してください。A4判縦置き横書きとし、全角40字30行(英文綴りおよび数値は半角)で、上下左右に約3cmの余白をとり、フォントの大きさは11ポイントにして下さい。
- 原稿を英文で作成する場合は、Times New Roman、文字の大きさは12ポイント、ダブルスペースにしてください。
- 見出し語は適宜用いることができます(例:緒言、方法、結果、考察、結論など)。
- 論文中に引用した文献は、すべてを文献表にして巻末に掲載してください。

#### ③提出部数

3部ならびにPDFファイル1部を作成し、提出してください。

#### ④綴じ方

審査のための提出(1月)には、表紙、論文要旨、英文論文要旨、目次、本文の順に並べて、クリップで止めて提出してください。

最終版の提出(2月)は、上記と同様の順で並べ、クリップで留めて提出してください。

### (3) 論文要旨

論文要旨は、日本語と英語の両方を作成して下さい。

#### ①形式

- 日本語の要旨はA4判**2枚**(1枚および3枚以上は不可)で、英語の要旨はA4判**1枚**(2枚以上は不可)で、見本にならって作成してください。
- 上部に、論文題目、学生証番号、氏名、指導教員名を記載してください。

#### ②本文

- 日本語の要旨はA4判2枚に2段組とし、図・表の挿入は可、字数制限はありません。英語の要旨は、A4判1枚とし、図・表の挿入は不可とします。





# 第11章 研究倫理審査について

## 1. 研究倫理審査の申請について

スポーツ健康学研究科に所属する大学院生が、大学院または関連施設において研究を行う場合、研究倫理委員会に研究計画書を提出して承認を得なければなりません。

研究倫理審査申請にあたっては、「研究倫理委員会要綱」を確認してください。

### (1) 審査申請

下記申請書類を必要に応じて大学院ホームページよりダウンロードし、スポーツ健康学研究科事務課 (sports@hosei.ac.jp) までメール添付して提出してください。(大学院ホームページについては51頁を参照すること)

- ①研究倫理審査申請書(様式1)
- ②研究概要説明書(様式2-1)
- ③研究概要説明書・研究参加の同意書(様式2-2)

### (2) 審査の判定

審査判定終了後、申請者に対して倫理審査結果通知書(様式3)により判定結果が通知されます。修正や追加書類の提出を求められた場合は、その指示に従ってください。

## 2. 研究倫理委員会要綱

2009/10/12 スポーツ健康学部教授会決定  
2016/6/14 スポーツ健康学研究科教授会決定  
2017/5/23 スポーツ健康学研究科教授会改訂  
2018/1/23 スポーツ健康学研究科教授会改訂

### (目的)

第1条 この要綱は、法政大学大学院スポーツ健康学研究科(以下「研究科」という。)が実施する人を対象とする研究に関し必要な事項を定め、研究が倫理的、法的、社会的に適正に実施されることを確保することを目的とする。「人を対象とする研究」とは、人または人由来試料を対象とし、個人の行動、環境、心身等に関する情報およびデータ等(以下「個人の情報およびデータ等」という。)を収集または採取して行う研究をいう。ただし、ヒトES細胞を使用する研究、ヒトゲノム・遺伝子解析に関する研究を除く。

### (研究者の責務)

第2条 本研究科に所属する常勤・非常勤教員(スポーツ健康学部助教を含む)ならびに大学院生(研究生および研修生を含む)(以下「研究者」という)は、大学又は関連施設において研究を行う場合、研究倫理委員会に研究計画書を提出して承認を得なければならない。

### (委員会の設置)

第3条 この要綱の目的を達するため、研究科に研究倫理委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(委員会の責務)

第4条 委員会は、研究科長の諮問に応じ、次の各号に掲げる事項について、研究倫理上の審査を行う。

- (1) 研究者から申請された研究計画に係る事項
- (2) 公表を予定する研究成果の内容に係る事項
- (3) その他研究科長が特に指示する事項

2 委員会は、必要と認めた場合、研究者に対し、研究計画の申請を求めることができる。

(委員会の構成)

第5条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 研究科長
- (2) 研究科教員 若干名
- (3) 学外または学部外学識経験者 若干名

2 前項第2号から第3号までの委員は、研究科の議を経て、研究科長が任命又は委嘱する。

(委員の任期)

第6条 前条第1項第2号から第3号の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員を生じた場合の補充委員の任期は、前任の残任期間とする。

(委員長)

第7条 委員会に委員長を置き、研究科長がその任に当たる。

2 委員長は、委員会を招集し議長を務めるとともに、会務を主宰する。

第8条 専門の事項を調査、検討するため、委員会に、臨時に専門委員をおくことができる。

2 専門委員は、委員会で協議のうえ、委員長が任命又は委嘱する。

3 委員会は、必要と認めるときは、専門委員の出席を求め、調査、検討事項の報告を受け、又は討議に参加させることができる。ただし、専門委員は、審査の判定に加わることはできない。

4 専門委員の任期は、当該研究計画の判定をもって終了する。

(審査上の留意事項)

第9条 委員会は、第4条第1項に定める審査を行うに当たっては、特に次の各号に掲げる事項に留意しなければならない。

- (1) 研究の対象となる個人の人権の擁護
- (2) 研究によって生じ得る当該個人への不利益及び危険性
- (3) 研究の対象となる個人(必要のある場合はその家族又は保護義務者)に理解を求め同意を得る手続
- (4) その他委員会において、倫理上の配慮が必要であると認められる事項

(委員会の議事)

第10条 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことはできない。

2 委員長は、必要があると認めるときは、申請者又は申請者が指名する共同研究者に委員会への出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

3 委員は、自己の申請に係る審査には、関与することができない。

(審査の判定)

第11条 審査の判定は、出席委員の3分の2以上の合意を必要とする。

2 前項の規定にかかわらず、申請に係る審査が急を要しかつ事例に基づいて審査結果が明確に推定できるものについては、委員長又はその指名を受けた委員は判定することができる。委員長は、その

結果を委員会に報告する。

- 3 審査の判定は、次の各号に掲げる表示により行う。
  - (1) 承認
  - (2) 条件付承認
  - (3) 変更の勧告
  - (4) 不承認
  - (5) 非該当
- 4 審査経過及び判定は、記録として保存し、原則として公表しない。ただし、委員長が特に必要と認める場合は、当該研究の申請者及び研究の対象である個人の同意を得て、審査経過及び審査結果の内容を公表することができる。公表に当たっては、プライバシー及び研究のプライオリティを十分に配慮するものとする。

#### (予備審査)

第12条 委員会は、審査する研究計画ごとに、委員長が指名する委員(以下「担当委員」という。)において予備審査を行った上で、審査を行う。

- 2 予備審査の結果、担当委員が、研究計画が次のいずれかに該当し、委員会で審査することが適当でないと認めた場合は、委員会において審査を行わず、当該研究計画について見直しを求める。
  - (1) 倫理的または科学的見地から著しく妥当性を欠いている場合
  - (2) その他委員会で審査する水準に達していないと認められる場合

#### (審査)

第13条 予備審査の結果、担当委員が、当該研究計画が次のいずれかに該当し、これを承認することが適当であると認めた場合は、委員会が承認の決議をしたものとみなす。

- (1) 他の研究機関との共同研究であって、既に他の研究機関の倫理審査委員会において研究計画全体の承認を受けている場合。
- (2) 研究計画を変更しようとする場合で、その変更の内容が軽微なものであるとき。
- (3) 侵襲(研究行為により、対象者の身体または精神に、傷害または負担が生じることをいう。以下同じ。)を伴わず、介入(研究により、人の健康に関する様々な事象に影響を与える要因の有無または程度を制御する行為をいう。以下同じ。)を行わない研究である場合。
- (4) 軽微な侵襲を伴い、介入を行わない研究である場合。

- 2 前項の(1)から(4)に該当しない研究計画は、委員会において審査を行うものとする。

#### (審査の申請)

第14条 申請者は、研究倫理審査申請書(様式1号)を、委員会に提出しなければならない。

- 2 委員長は、前項の申請がない場合においても、必要があると認める場合は、研究計画又は公表を予定する研究成果について、申請の提出を求めることができる。
- 3 委員長は、前2項に基づく申請について、速やかに委員会に諮問するものとする。

#### (判定の通知)

第15条 委員長は、審査終了後速やかに判定結果を研究科教授会に報告すると共に、直ちに当該申請者に対し審査結果通知書(様式3号)により通知するものとする。

- 2 前項の通知に当たり、審査の判定が第11条第3項(2)(3)(4)のいずれかに該当する場合は、審査結果通知書に理由等を記入しなければならない。
- 3 委員会の審査を経た研究計画の申請者は、委員会の求めに応じ、研究の経過及び結果について委員

会に報告しなければならない。

(倫理審査証明)

第16条 委員長は、次の各号に掲げる目的のため請求があった場合は、委員会の審査結果に基づく倫理審査証明書等を発行することができる。

- (1) 学術雑誌等への投稿に際し、委員会の意見書等の添付を求められた場合
- (2) 研究材料等の入手に際し、委員会の同意書等の提出が必要な場合

(異議の申立)

第17条 第14条第1項による通知に対し異議がある場合は、申請者は、一回を限りに再審査を求めることができる。この場合、審査結果通知書を受領した日の翌日から起算して14日以内に、異議の根拠となる資料を添付のうえ、異議申立書(様式4号)を委員長に提出しなければならない。

- 2 前項の異議申立に係る再審査については、第4条第1項の審査に準ずる。
- 3 再審査に関し専門委員を委嘱する場合は、初回の調査検討を担当した委員以外の1名を加えるものとする。
- 4 委員長は、再審査終了後速やかにその結果を研究科教授会に報告すると共に、直ちに当該申請者に対し、再審査結果報告書(様式5号)により通知するものとする。

(研究計画の変更)

第18条 申請者は、研究計画を変更しようとするときは、遅滞なくその旨を委員会に報告しなければならない。

- 2 委員会は、前項の報告について必要があると認めるときは、当該変更に係る研究計画について改めて審査の手続きをとることができる。

(庶務)

第19条 委員会の事務は、スポーツ健康学部事務課において処理する。

(要綱の改廃)

第20条 この要綱の改廃には、研究科教授会の3分の2以上の同意を必要とする。

(雑則)

第21条 この要綱に定めるもののほか、要綱の施行に当たり必要な事項は、委員会の協議に基づき、研究科教授会が定める。

附則

1. 研究参加者への説明および同意書の確認には、様式2号を使用することを原則とするが、研究内容に応じて記載内容を変更できる。
2. 学部生が倫理審査を希望する場合について

学部生が指導教員のもとで行う侵襲を伴わない研究については、指導教員が研究内容及び倫理的な問題がないことを確認し、責任を持って研究を遂行する場合、倫理申請の対象としない。ただし、学部生の研究であっても、侵襲性の高い研究、学会発表のために倫理審査が必要な場合には、指導教員が研究実施責任者として申請をしなければならない。なお、学部生本人は、研究実施者として計画書に記載する。

参考資料

様式1号

受付番号

研究倫理審査申請書

年 月 日

法政大学大学院 スポーツ健康学研究所  
倫理委員会委員長 殿

申請者氏名	
所属 <small>(学生は学生番号を)</small>	
指導教員 <small>(申請者が学生の場合)</small>	

1 審査対象	<input type="checkbox"/> 実施計画	<input type="checkbox"/> 公表原稿
2 研究課題名		
3 研究責任者		
4 研究実施者		
5 研究分担者	<small>(所属)</small>	<small>(氏名)</small>
6 研究期間		
7 研究の概要		
8 研究対象		
9 研究方法等		
10 研究における倫理上の配慮		
	<small>(1) 対象となる個人の入籍の保護のための配慮 (プライバシー、苦痛・危険性)</small>	

(2) 対象者の同意を得る方法 (対象者本人、対象者以外の同意を要する場合)
(3) 研究により生じる対象者への不利益及び危険性と研究上の利益の予測
<b>11 その他</b>
<b>12 該当する項目にチェック(☑)を入れる。</b>
<input type="checkbox"/> 他の研究機関と共同して実施される研究であり、既に当該研究の全体について共同研究機関において倫理審査委員会の審査を受け、その実施について適当である旨の意見をj得ている。
<input type="checkbox"/> 研究計画書の軽微な変更である。
<input type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究であり、介入(研究により、人の健康に関する様々な事象に影響を与える要因の有無または程度を制御する行為をいう。以下同じ。)を行わない。
<input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究であり、介入を行わない。
<input type="checkbox"/> 上記のいずれにも当てはまらない。

様式 2-1 号

**研究概要の説明書**

研究課題名  
○○○○

1. 研究の趣旨・目的  
○○○○

2. 研究方法  
○○○○

3. 研究参加者にもたらされる利益と負担  
○○○○

4. 予測されるリスク、危険、心身に対する不快な状態や影響  
○○○○

5. 守秘や個人情報、研究データの取り扱い  
○○○○

6. 研究への参加と拒否  
○○○○

7. 問い合わせ先

研究実施者：○○○○ (ふりがな)	法政大学大学院 スポーツ健康学研究所
研究責任者：○○○○ (ふりがな)	〒東京都町田市相原町4342 Tel. 042-783-2121
連絡先電話番号 000-0000-0000	電子メール 000@000.jp

様式 2-1 号

**研究概要の説明書**

研究課題名  
○○○○

1. 研究の趣旨・目的  
○○○○

2. 研究方法  
○○○○

3. 研究参加者にもたらされる利益と負担  
○○○○

4. 予測されるリスク、危険、心身に対する不快な状態や影響  
○○○○

5. 守秘や個人情報、研究データの取り扱い  
○○○○

6. 研究への参加と拒否  
○○○○

7. 問い合わせ先

研究実施者：○○○○ (ふりがな)	法政大学大学院 スポーツ健康学研究所
研究責任者：○○○○ (ふりがな)	〒東京都町田市相原町4342 Tel. 042-783-2121
連絡先電話番号 000-0000-0000	電子メール 000@000.jp

-----切り取り-----

**研究参加の同意書**

法政大学大学院スポーツ健康学研究所 ○○○○殿

私は、「研究概要の説明書」の項目1～7の説明を受け、研究の目的、方法等について理解しましたので、研究に参加することを同意します。

研究参加者(署名) \_\_\_\_\_ 年 月 日

代諾者(署名) \_\_\_\_\_ 本人との関係 \_\_\_\_\_

様式3号

受付番号

倫理審査結果通知書

年月日

申請者  
殿

法政大学大学院スポーツ健康学研究科  
倫理委員会委員長

年月日付をもって依頼のあった研究計画等につき審査したところ、下記のとおりであったので報告します。

<b>研究課題名</b>	
<b>判定</b>	<input type="checkbox"/> 承認 <input type="checkbox"/> 条件付き承認 <input type="checkbox"/> 変更の勧告 <input type="checkbox"/> 不承認 <input type="checkbox"/> 非該当
<b>承認番号</b>	
<b>理由</b>	

様式4号

受付番号

異議申立書

年月日

法政大学大学院スポーツ健康学研究科  
倫理委員会委員長 殿

<b>申請者氏名</b>	
<b>所属</b> <small>(学生は学生証番号)</small>	
<b>指導教員</b> <small>(申請者が学生の場合)</small>	

年月日付の倫理委員会の判定に異議がありますので、再審査を申請します。

<b>1 研究課題名</b>	
<b>2 研究責任者</b>	

**異議の理由**

注意事項 1: 再審査の異議及び理由については、できるだけ具体的に書いてください。  
2: 再審査結果通知書及び研究計画書を1部添付して下さい。

様式5号

受付番号

倫理審査結果通知書(再)

年月日

申請者  
殿

法政大学大学院スポーツ健康学研究科  
倫理委員会委員長

年月日付をもって依頼のあった研究計画等につき審査したところ、下記のとおりであったので報告します。

<b>研究課題名</b>	
<b>判定</b>	<input type="checkbox"/> 承認 <input type="checkbox"/> 条件付き承認 <input type="checkbox"/> 変更の勧告 <input type="checkbox"/> 不承認 <input type="checkbox"/> 非該当
<b>承認番号</b>	
<b>理由</b>	

# 第12章 教職資格について

## 1. 専修教育職員免許状取得

### (1) 専修教育職員免許状とは

中学校および高等学校教諭1種の教育職員免許状取得済の者が、修士課程を修了すること等により、申請取得できる上位免許です。

### (2) 専修教育職員免許状取得要件

中学校専修・高等学校専修免許状を取得しようとする者は、当該免許教科の教科専門科目に含めることができる大学院専門科目を、24単位以上修得し、修士課程を修了しなければなりません（この場合の基礎資格は、「大学院研究科修了」となります）。

また、修士論文等を提出せず、来年度修了できない場合でも、専修免許状にかかる必要単位を含めて30単位以上を修得していれば、専修免許状を取得することができます（この場合の基礎資格は、「修士課程1年以上在学30単位以上修得」となります）。

### (3) 教育職員免許状の種類

本学スポーツ健康学研究科で取得できる教育職員免許状の種類及び教科は次表のとおりです。

研究科専攻	免許教科の種類 (高校)	免許教科の種類 (中学)
スポーツ健康学研究科 スポーツ健康学専攻	保健体育	保健体育

### (4) 教育職員免許状一括申請について

東京都教育委員会では、都内に所在する大学の卒業生・修了生のために、免許状の申請を大学ごとにとりまとめて審査し、一括して免許状を授与する方法をとっています。

申請受付期間は7月上旬～中旬を予定しています。詳細は別途掲示します。

#### 【一括申請対象者】

- ①中学校1種、高等学校1種の教育職員免許状を取得済で、2021年3月修士課程修了と同時に中学専修、高等学校専修免許状の資格を得る見込みの者。
- ②本学学部科目履修中で、2021年3月に教職及び教科に関する科目の全単位を修得見込みの者。

### (5) 教育職員免許状個人申請について

上記の【一括申請対象者】以外の者については、個人申請となります。個人申請の場合は、申請者の居住地の都道府県教育委員会に申請することになります。詳細は、各自が居住する都道府県教育委員会に問い合わせてください。

ただし、東京都の場合、一括申請の取り扱いに伴い、毎年2月1日から4月15日まで、個人申請の受付を停止するので注意してください（なお、都内国公私立学校に教員として採用が内定している者は受け付けるとのことなので、各自で東京都教育庁へ問い合わせてください）。

## 2. 1種教育職員免許状取得

中学校および高等学校1種の教育職員免許状を未取得の者が、修士課程在学中に「専修教育職員免許状」および「1種教育職員免許状」を同時に取得するための手続きは、以下のとおりです。

### (1) 中学校および高等学校1種の教育職員免許状の取得方法

各学部で開講している教職課程の授業科目を受講し、必要単位を修得してください。該当科目を設置している学部の「科目等履修生」として、科目を受講します。

ただし、本大学院入学前に、教職および教科に関する科目の修得単位数が少ない場合、2年間での教育職員免許状の取得が困難な場合がありますので注意してください。

### (2) 教職課程授業科目の受講登録

スポーツ健康学部事務課にて4月第1週に当該学部の「科目等履修生」の申込申請を行ってください。その後、当該学部教授会の議を経て、授業の受講が許可されます。

その場合、次の点に注意してください。

- a. 教職課程の授業科目は、指導教員の承認を得て、受講することができます。
- b. 大学院の授業科目と時間が重複するものについては許可しません。
- c. 教育実習については、受講受付に際して次のような制限があります。

#### 【2019年度以降入学者】

- ①実習前年度までに教育の基礎的理解に関する科目等のうち14単位以上を修得済みであること。
- ②実習前年度に行われる「教育実習事前指導」を履修し合格していること。
- ③実習前年度に「教育実習希望者登録」の手続きを済ませていること。
- ④実習前年度までに保健体育科教育法Ⅰ～Ⅳを履修し単位修得済みであること。

#### 【2018年度以前入学者】

- ①実習前年度までに教職に関する科目12単位以上を修得済みであること。
  - ②実習前年度に行われる「教育実習事前指導」を履修し合格していること。
  - ③実習前年度に「教育実習希望者登録」の手続きを済ませていること。
  - ④保健体育科教育法Ⅰ・Ⅱ及び保健体育科教育法ⅢもしくはⅣを履修し単位修得済みであること。
- d. 教職および教科に関する学部授業科目の受講を希望する者は、本大学院入学前に取得した教職科目に関する「学力に関する証明書」を提出してください。前もって取り寄せて提出できる準備をしておいてください。
  - e. 受講料

#### ①教職課程費

入学年度	登録料	対象
2017年度以降入学者	[新規登録料] 30,000円	他大学学部出身者及び本学通信教育部出身者。本学学部出身者であるが、学部在籍時に教職課程費を納入したことがない者。本学学部在籍時に教職課程費を納入したことがあるが、学部卒業後1年以上経過して大学院へ入学する者。
	[継続登録料] 15,000円	本学学部在籍時に教職課程費を納入したことがあり、学部卒業と同時に大学院へ入学する者。 ※修士2年次から1種免許取得に係る科目の履修を開始した場合でも、登録料の納入区分は「継続」として取り扱います。
2014年度～2016年度入学者	[新規登録料] 30,000円	他大学学部出身者及び本学通信教育部出身者。

- ・実習校が教育実習費を必要とした場合は、直接実習校へお支払い頂きます。
- ・一度登録料を納入していただくと、現在所属の課程に在籍中は再度、教職課程費を納入する必要はありません。
- ・専修免許取得に係る大学院専門科目の受講にあたっては、教職課程費は発生しません。

②受講料（入学年度に関わらず、教職および教科に関する科目受講者は全員納入する必要があります。）

- ・4単位科目 5,000円
- ・2単位科目 2,500円

ただし、本学の学部出身者はそれぞれ半額となります。教育実習事前指導、教育実習の受講を希望する場合は別途受講料が発生しますので、事務課までご相談ください。

<注意事項>

- ・1年次から計画をたてて履修してください。
- ・本学学部出身者で教職課程の授業科目を履修する場合は、大学院入学年度の入学者に適用される課程表に沿って科目を履修してください。本学学部在籍当時の課程表は適用されません。
- ・2019年度より教育職員免許法が改正されたため、教員免許状取得要件が変更となりました。そのため、**2018年度以前に入学し修了までに免許状取得に必要な単位を修得し切れなかった場合、改正後の法律が適用となります。**修了・離籍後に免許状を取得しようとした場合、追加で新たな科目を修得しなければ免許状を取得することはできませんので、十分注意すること。

### （3）専修教育職員免許状の取得方法

中学校および高等学校 1種の教育職員免許状の取得見込の者が、専修教育職員免許状を取得するための手続きの要件は、「1.専修教育職員免許状取得」のとおりです。

**スポーツ健康学研究科 スポーツ健康学専攻**

中学校専修免許状：保健体育

高等学校専修免許状：保健体育

教科専門科目表（24単位以上）（2018年度以降入学生）

免許法施行規則に定める科目区分	本学配当科目	単位数	備考
教科に関する科目	保健体育科教育法特別演習	2	
	スポーツ健康学特論Ⅰ(心身科学)	2	
	スポーツ健康学特論Ⅱ(自然科学)	2	
	スポーツ健康学特論Ⅲ(人文社会科学)	2	
	スポーツコーチング学特論	2	
	スポーツ運動学特論	2	
	スポーツバイオメカニクス特論	2	
	スポーツトレーニング学特論	2	
	公衆衛生学特論	2	
	健康体力学特論	2	
	健康心理学特論	2	
	スポーツ栄養学特論	2	
	学校保健学特論	2	
	スポーツマネジメント特論	2	
	スポーツ健康政策学特論	2	
教職に関する科目	発育発達学特論	2	
	スポーツ教育学特論	2	

教科専門科目表（24単位以上）（2017年度以前入学生）

免許法施行規則に定める科目区分	本学配当科目	単位数	備考
教科に関する科目	スポーツ健康学特論Ⅰ(心身科学)	2	
	スポーツ健康学特論Ⅱ(自然科学)	2	
	スポーツ健康学特論Ⅲ(人文社会科学)	2	
	スポーツコーチング学特論	2	
	スポーツ運動学特論	2	
	スポーツバイオメカニクス特論	2	
	スポーツトレーニング学特論	2	
	発育発達学特論	2	
	スポーツ教育学特論	2	
	公衆衛生学特論	2	
	健康体力学特論	2	
	健康心理学特論	2	
	スポーツ栄養学特論	2	
	学校保健学特論	2	
	スポーツマネジメント特論	2	
スポーツ健康政策学特論	2		
教職に関する科目	保健体育科教育法特別演習	2	

## 第13章 留学について

本学の大学院生が海外の大学院へ留学するためには、以下のような制度があります。制度によって取扱い窓口が異なりますのでご注意ください。

### 1. 法政大学大学院における留学制度

#### 2021 年度留学希望者対象

留学先は外国の大学院とし、当該国における正規の高等教育機関であり、かつ学位授与権を有するものとします。

応募資格等の詳細、申請については 9 月上旬頃に大学院ホームページおよび掲示板に掲載する募集要項を参照してください。研究科長会議での選考により補助金受給者が決定されます。採用者には留学期間に応じ、上限 200 万円（留学期間：1 年間）または上限 100 万円（留学期間：6 ヶ月間）が給付されます。あわせて、大学院ホームページに掲載している「法政大学大学院学生海外留学補助金規程」を必ず確認してください。

### 2. 法政大学派遣留学制度

学業成績が優秀で高い外国語能力を持ち、かつ留学への強い意志を持った学生を本学の海外協定大学へ派遣する制度です。

春学期派遣留学の募集は 5・6 月に、秋学期派遣留学の募集は 10 月に実施されます。グローバル教育センター事務部国際交流課配付もしくはホームページ掲載の募集要項を確認し、指定応募期間に必要な書類を提出してください。留学者は選考試験を経て決定されます。

大学院修士課程の場合、2 年コース在籍学生は 1 年目秋学期および 2 年目春学期に、3 年コース在籍学生は 1 年目秋学期および 2 年目春・秋学期に出願可能です。大学院博士後期課程在籍学生は 1 年目秋学期、2 年目春・秋学期および 3 年目春学期に出願可能です。派遣先大学ごとに語学力や受入れ分野の限定などの条件があります。

詳細はグローバル教育センター事務部国際交流課で確認してください。

### 3. 交換研究員制度

交換研究員協定を締結したロシア科学アカデミー東洋学研究所で最長 3 ヶ月の研究を行う制度です。教員向けの募集を行い、未使用枠が生じた場合に大学院生が利用することができます。大学院生向けの募集がある場合は、4 月に掲示します。

協定先より滞在費・宿舎が提供されますが、渡航費は自己負担となります。

詳細はグローバル教育センター事務部国際支援課に問い合わせてください。

### 4. グローバル教育の推進について

法政大学では早くから学生の海外留学や外国人留学生の受入れを行い、大学教育のグローバル化を進めてきました。2014 年度には文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択され、グローバル教育のさらなる拡充を推し進めています。以下に、グローバル教育センターが提供する主なプログラムを紹介します。大学院生も積極的にご活用ください。

### (1) ERP (英語強化プログラム)

ERPは一定の英語力と高い英語学習意欲を持った学生を対象にグローバル社会で活躍するための英語力を養成するためのプログラムで、3キャンパスで開講されています。詳細は、本要項の「ERP (英語強化プログラム) の受講」(23頁)を参照してください。

### (2) Gラウンジ

Gラウンジは外国語コミュニケーション空間として、市ヶ谷(大内山校舎2階)、多摩(総合棟地下1階)、小金井(管理棟4階)の3キャンパスに設けられています。Gラウンジでは英語学習アドバイザーなどネイティブスピーカーとの日常的なコミュニケーションの機会を持つことができ、実践的な学力を身に付けることができます。英語で話したい、英語の上達方法を教わりたい、海外の文化を知りたいなど、学生の様々な希望に対応します。またGラウンジはERP(英語強化プログラム)や国際交流ボランティア・インターンシップなどの窓口にもなっており、スタッフが常駐して問い合わせや相談に応じます。

### (3) 国際インターンシッププログラム

海外での様々な体験を通して、世界を違う視点から見ることで、グローバル人材に求められる国際感覚や様々な能力を身に付けるのが、国際インターンシッププログラムです。国際インターンシップでは、派遣先での就業体験を通じて、グローバル化社会に対応した働き方や文化の違いを学びます。将来的にはグローバル企業への就職など学生のキャリア形成支援につなげていくものです。

### (4) 国際キャリア支援プログラム

将来、グローバルに活動を展開している企業・団体で働きたいと考えている学生のキャリアを支援するプログラムです。主に、「海外プログラム(学内・学外を問わない)」に参加する、あるいは今後の参加を希望している学生を対象に、セミナーを開催します。セミナーでは、海外プログラムへの参加経験を効果的に企業にアピールする方法、人事部がグローバル人材の採用にあたり重視しているポイント、国際キャリアフォーラムに関する情報提供等を行います。実施内容により、対象学年等を限定する場合があります。詳細については、グローバル教育センターのホームページ(<http://www.global.hosei.ac.jp/>)をご確認ください。

### (5) グローバル・ポイント制度

グローバル・ポイント制度は、留学や語学研修など大学が指定する対象プログラムへの参加についてポイントを付与することで、学生自身がそれぞれの活動状況を把握し、今後の学習に役立てることを目的として実施しています。2020年度の手続きについては、グローバル教育センターホームページでお知らせします。

グローバル教育センターホームページ <https://www.global.hosei.ac.jp>

Facebook ページ <https://www.facebook.com/hosei.university.global>

# 第14章 学籍について

## 1. 在学期間

### (1) 修業年限について

修士課程の標準修業年限は2年であり、通算4年を超えて在学することはできません。

### (2) 休学した場合について

休学期間（通算3年を限度とする）は修業年限に含めません。なお、春学期（秋学期）休学の場合には、秋学期（春学期）分として0.5年が在学年数に算入されるので注意してください。また春学期末の時点で在学年数の上限に達した場合には、原則としてその時点をもって期間満了となり、引き続き秋学期に在学することはできません。

### (3) 進級について

進級は各年次における在学年数を充たしている場合に、年度始めにのみ認められます。秋学期から進級することはできません。休学した場合、次年度は進級できませんが、半期休学の場合には過去の在学状況により進級できる場合があります。

## 2. 休学

病気その他やむを得ない事情で、学業を一時中断しなければならない場合は、事由発生後すみやかに所定の「休学願」を事務課へ提出してください。病気による休学の場合は診断書の提出を求めることがあります。なお休学中はT・Aや奨学金の応募はできません。

### (1) 休学期間

休学期間は、年間休学（4月1日～翌年3月31日）、春学期休学（4月1日～9月15日）、秋学期休学（9月16日～翌年3月31日）の3種です。

休学期間は、年度ごとに更新するためその都度「休学願」を提出してください。ただし、休学期間は通算して3年を超えることはできません。なお、春学期休学、秋学期休学は0.5年と計算します。

### (2) 休学願提出期限

種 別	期 限
年間休学	5月末日まで受付
春学期休学	5月末日まで受付
秋学期休学	10月末日まで受付 ※5月31日が日曜日の為、窓口での受付は5月30日までとなります。

※提出期限以降の「休学願」は受け付けません。

### (3) 休学者の在籍料

種 別	在 籍 料
年間休学	休学在籍料 10万円徴収
春学期休学	休学在籍料 5万円徴収（別途諸会費がかかります。）
秋学期休学	休学在籍料 5万円徴収

### 3. 退学

病気その他やむを得ない事情で、退学しなければならない場合は、所定の「退学願」に学生証を添えて事務課へ提出してください。この場合、退学希望日に属する納期の学費を完納してください。

学費未納で退学する場合は、②の表の期限までに手続きを取ってください。

在学期間満了による退学の場合にも必ず「退学願」を提出してください。（「退学願」を提出しない場合は、在学年超過による除籍になります。）

#### <退学と学費について>

- ① **各期学費納入者**…退学希望日に属する納期の学費を支払い済みの場合、退学の日付は退学願が許可された日となります。
- ② **各期学費未納者**…下表の通り。

学費納入区分	退学願提出期限	退学許可日
1期分未納者	5月末日 ※5月31日が日曜日の為、窓口での受付は5月30日までとなります。	前年度の3月31日付
2期分未納者	10月末日	9月15日付

※一旦納入した学費その他は一切返還しません。

### 4. 除籍

学費を指定された期間に納めない場合は除籍となります。該当者には、除籍通知を送付します。

### 5. 復学・復籍

退学した者が復学を希望する場合、または授業料未納によって除籍された者が復籍を希望する場合は、所定の「復学願」・「復籍願」を事務課へ提出してください。スポーツ健康学研究科教授会の議を経て復学または復籍を許可します。

復学・復籍の時期は、年度の始め（4月）に限るため、2月末日までに「復学願」・「復籍願」を提出しなければなりません。

退学者が復学、または除籍された者が復籍を許可されたときは、他校出身者のみ再入学金として10万円を納入しなければなりません。

### 6. 転研究科・転専攻

在籍する研究科または専攻を変更したい場合、希望者は1月末日までに事務課へ「転研究科・専攻願」を提出してください。ただし、専攻により受け付けられない場合があります。所属研究科教授会および受入研究科教授会、それぞれの議を経て転研究科、専攻を許可します。

## 7. 留学生

留学生に関する事務は、大学院課スポーツ健康学研究科担当とグローバル教育センター事務局国際交流課でそれぞれ取り扱っています。

### (1) 大学院課スポーツ健康学研究科担当での取扱い

- a. 授業関係全般
- b. 大学院生向け奨学金  
詳細は Web 掲示板を参照してください。

### (2) 国際交流課での取扱い

- a. 学生生活に関すること  
外国人留学生の受入、在留資格に関わる指導・手続き、学生保険、医療費補助、宿舍・アルバイトに関わる指導
- b. 奨学金に関すること  
学部生を含んだ留学生を対象とした各種奨学金の応募・選考・申請、授業料減免の実施
- c. 各種国際交流行事に関すること  
留学生会・国際学生交流会活動補助、国際交流懇親会等の開催、地域交流団体行事の掲示等

# 第15章 学費について

## 1. 学費

入学金、授業料その他の学費に関しては、毎学期始めの所定の期日までに、その学期分の学費を納付しなければなりません。納期等については次のとおりです。

### (1) 入学金・授業料・教育充実費・実験実習費（2020年度）

学費の種類	修士課程	
	自校	他校
入学金	なし	200,000 円
授業料（年額）	644,800 円	
教育充実費	100,000 円	
実験実習費	100,000 円	

※自校とは、法政大学の学部を卒業している場合を指し、他校とは、その他の者を指します。

※上記の他、2019年度以前入学生は栄養教育費（年額 44,800 円）および、諸会費（年額 2,000 円）は春学期一括納入が必要です。2020年度以降入学生は諸会費のみ別途必要です。

### (2) 納 期

授業料、実験実習費及び教育充実費は2期に分けて納入するものとします。期限までに納入しないと除籍となるので注意してください。

	納入期限
1期分	4月30日
2期分	9月30日

### (3) 修業年限を超えて在学する者の学費

#### a. 「論文と科目が未修得」の場合

当該者の入学年度に定められた授業料および教育充実費の2分の1です。

#### b. 「論文のみ未修得」の場合又は「論文に合格したが科目1科目以内（2単位科目は0.5科目とする）未修得」の場合

授業料および教育充実費の4分の1です。

上記授業料の他、実験実習費と諸会費等が加わります。

### (4) 休学を許可された場合の学費（在籍料の納入が必要となります。）

#### a. 年間休学を許可された者

休学在籍料として100,000円を徴収します。

#### b. 春学期休学・秋学期休学を許可された者

休学在籍料として50,000円を徴収します（春学期休学の場合、別途諸会費がかかります）。

なお、a・bともに休学該当期間の授業料、教育充実費・実験実習費の納入を要しません。

また、年間休学を許可された者は諸会費の納入を要しません。

## (5) 学費の納入

学費の納入にあたっては、大学が郵送する所定の銀行振込用紙を使用し、銀行の窓口で振込をしてください。ATM（自動振込機）を利用する場合は、「学費振込依頼書」に記載された内容に従い、コード等を入力する必要があります。なお、いったん納入した学費は返金できません。

学費納付書の発送は、以下のとおりです。

	送付予定	内容
在學生	4月中旬	年間分（1期・2期まとめて郵送）
新入生	6月頃	2期（秋学期）分を郵送

※学費振込依頼書未着・紛失の際は、学生証を持参の上、総合棟4階の「多摩事務部総務課」または事務課に申し出るか、経理課にご連絡ください。

### ■学費に関するお問い合わせ

〔経理課〕 電話番号 03-3264-9270

受付時間 月～金 9：00～17：00（11：30～12：30除く）

## 第16章 奨学金・助成金制度について

### 1. 奨学金（休学者は出願できません。）

以下の奨学金の書類配布は、3月中旬から学生センター多摩学生生活課（EGG DOME 2階）にて行います。希望者は必ず必要書類を受領してください。

なお、その他の奨学金については、掲示で周知するので、希望者は随時確認してください。

#### （1）法政大学100周年記念大学院修士課程奨学金（給付）

この奨学金は大学院修士課程の各研究科に在学している方を対象とした本学独自の奨学金制度です。この奨学金は給付型で、返還の必要がありません。ただし、この奨学金の給付を受けた後、当該年度中に休学・退学・除籍等となった場合には、全額または一部の返還の義務が生じます。また、本奨学金採用者には、「補助金申請のための書類」の提出を依頼する場合がありますので、ご協力をお願いします。

採用は1年間（給付は年額の半分ずつを2回にわけて振込）で、過年度の申請有無・選考結果を問わず毎年申請できます。

種類	選考方法	給付年額	採用数
法政大学100周年記念大学院修士課程奨学金	学業成績・人物ともに優れている者のうちから修学上経済的援助が必要と認められる者を選考します	20万円 (ただし長期履修制度適用者、外国人留学生授業料減免対象者は減額)	160名

#### （2）日本学生支援機構（旧日本育英会）奨学金（貸与）

日本学生支援機構（旧日本育英会）奨学金には、「第一種奨学金（無利子）」と「第二種奨学金（有利子）」があります。

出願資格や提出書類等の問い合わせは、多摩学生生活課（EGG DOME 2階）で受付けています。

なお、貸与月額（1年生は予定額）は以下のとおりです。

##### a. 第一種奨学金（無利子）

修士課程（1～2年生） 50,000円／88,000円のどちらかを選択

##### b. 第二種奨学金（有利子）

全学年とも、50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円の中から希望する金額を選択できます。

なお、第一種奨学金貸与者には、業績優秀者返還免除制度があります。在籍している課程における教育研究活動分野（修士論文等）において、優れた業績を挙げた者を大学が選考して推薦します。選抜されると全額、あるいは半額の返還免除の適用を受けることが可能となります。

#### （3）その他、地方公共団体・民間奨学団体奨学金について

本学に募集が届き次第、随時、Web掲示板に掲示するので、Web掲示板を適宜確認し、指定された日時までに手続きをとってください。

各種奨学金を受給する場合、各団体で定められたレポート、報告書等の提出、会合への出席等の義務を必ず果たしてください。

## 2. 研究助成金

大学院においては、下記のような研究助成金があります。大いに利用してください。  
なお、在学生向けの助成金に休学者は出願できません。

### (1) 法政大学大学院学生海外留学補助金

大学院生の海外留学による学術研究を奨励し、資質の向上を図ることを目的とします。詳細については、「留学について」(本要項 41 頁)を参照してください。

### (2) 法政大学大学院学生論文掲載料補助

本制度は、在籍する大学院生の学術研究を奨励し、その研究成果の発表を支援するため、学術誌へ論文を掲載する際、必要となる論文掲載料の経費を補助する制度です。

給付額は、論文掲載先が国内刊行誌、海外刊行誌のいずれの場合も、毎年 1 回、1 人につき 10 万円を上限に実費支給します。なお、申請による補助金支出額の合計が予算額に達した時点で、申請締め切りとします。

応募資格等の詳細、申請については大学院ホームページに掲載する募集要項を参照してください。また、大学院ホームページに掲載している「法政大学大学院学生論文掲載料補助規程」を確認してください。

### (3) 法政大学大学院学会等発表補助金

本制度は、大学院における学術研究の高度化・国際化を奨励するため、国内・国外で開催される学会等に係る経費の一部を補助する制度です。

対象者は、学会において研究発表、報告等を行う大学院生とします。

対象の学会等は、国内外の学術機関が主催する学会、研究会、ワークショップ等とします。ただし、学会開催地が東京都(島しょ部を除く)、神奈川県、千葉県、埼玉県を除きます。また、共同による研究発表についてはセカンドオーサーとして、ポスター・セッションにおける発表も本制度の補助対象とします。

給付額は、学会に出席するための交通費、宿泊費、学会発表参加費とし、原則、毎年 1 回、1 人につき国内の学会の場合 3 万円、国外の学会の場合 10 万円を上限に実費支給します。なお、申請による補助金支出額の合計が予算額に達した時点で、申請締め切りとします。

応募資格等の詳細、申請については大学院ホームページに掲載する募集要項を参照してください。また、大学院ホームページに掲載している「法政大学大学院学会等発表補助金規程」を確認してください。

### (4) 法政大学大学院諸外国語による論文等校閲補助

本制度は、大学院における学術研究の高度化・国際化を推進するため、在籍する大学院生が自ら執筆した諸外国語による論文やレポートについて、専門家・業者に校閲を必要とする場合、その経費を一部補助する制度です。

対象者は、修士課程または博士後期課程の大学院生とします。

給付額は全研究科を通じ年間 15 名とし、原則、毎年 1 回、1 人につき 10 万円を上限に実費支給とします。

応募資格等の詳細、申請については大学院ホームページに掲載する要項を参照してください。また、大学院ホームページに掲載している「法政大学大学院諸外国語による論文等校閲補助規程」を確認してください。

申請期間は 2 月中旬を予定しています。

### (5) 法政大学大学院現地調査実施費用補助

本制度は、大学院における学術研究の高度化・国際化を奨励するため、国内・国外での現地調査に係る経費の一部を補助する制度として 2019 年度より新設されました。

対象者は、修士課程または博士後期課程の大学院生とします。

給付額は、原則、毎年 1 回、1 人につき国内調査の場合 3 万円、国外調査の場合 7 万円を上限に実費支給とします。なお、申請による補助金支出額の合計が予算額に達した時点で、申請締め切りとします。

応募資格等の詳細、申請については大学院ホームページに掲載する要項を参照してください。また、大学院ホームページに掲載している「法政大学大学院現地調査実施費用補助規程」を確認してください。

## 3. チューター制度（外国人留学生対象）

本学大学院に在籍する大学院生等の教育研究を支援するため、チューター制度を導入しています。

上級生をチューター役として採用し、非正規生を含む下級生に対して大学院生活全般の指導にあたります。指導範囲は大学院授業で課されるレポートの助言・添削、学位論文、その他研究上の助言、大学院生活適応に関する助言、相談、学習上の助言、相談、その他、大学が研究遂行上、適切と認める指導、助言です。

本制度の詳細については、募集要項を大学院ホームページに掲載しますので十分確認してください。

申請期間は 募集要項で確認してください。

また、2017 年度より本制度に加え、「チューター日本語相談室」を開設しています。外国人留学生（休学中の者、科目等履修生及び専門職大学院生は除く）のうち、学位取得論文（修士論文）執筆の際の日本語表現に対する指導及び授業において課されたレポート等における日本語表現に対する指導を受けられます。申込方法については大学院ホームページに掲載しますので確認してください。

## 4. ゼミで契約宿舎を利用する場合の宿泊費補助

ゼミ合宿で（株）エイチ・ユーが「ゼミ合宿の宿」として提携・紹介する宿泊施設を利用した場合に宿泊料補助を行っていますので、ぜひご利用ください。詳細は、大学ホームページで確認してください。

# 第 17 章 学生生活について

## 1. 事務担当部局

スポーツ健康学研究科に関する事務は**多摩事務部大学院課スポーツ健康学研究科担当（多摩事務部スポーツ健康学部事務課を兼ねる）**が担当しています。（18号館スポーツ健康学部棟1階）

### （1）窓口事務取扱時間

授 業 期 間	月～金	9：00～17：00（11：30～12：30は除く）
	土	9：00～12：00

\*長期休業期間は業務取扱時間を変更する場合があります。

\*大学行事などにより窓口業務を停止する日があるので、掲示に注意してください。

### （2）事務取扱の内容

- ① 授業実施に関すること
- ② 単位修得上の指導、履修科目の登録に関すること
- ③ 論文提出に関すること
- ④ 成績の発表に関すること
- ⑤ 各種証明書、学割の発行に関すること
- ⑥ 学生証の発行に関すること
- ⑦ 学籍の異動に関すること（休学・退学・復学・復籍等）
- ⑧ 住所変更届・改姓（名）・保証人変更等
- ⑨ 教室の貸与に関すること
- ⑩ 拾得物の受付に関すること
- ⑪ その他教務に関すること

### （3）大学院ホームページ

大学院ホームページにて授業・履修・研究助成・学生生活に関する在学生向けの情報を発信していますので、活用してください。

スポーツ健康学研究科に関する情報や各種書式（研究倫理審査、修士論文提出等）は「授業・履修について」ページに掲載しているので、必要に応じて利用してください。

<http://www.hosei.ac.jp/gs/>

### （4）事務課からの通知連絡について

円滑な大学生活を送ることができるよう、事務課では必要に応じて各種の通知、連絡を行います。主として Web 掲示板に掲載します。Web 掲示板は重要な情報伝達手段ですので、こまめに確認してください。

なお、電話による掲示内容の問い合わせには、間違いを生じやすいため応じられません。

また、大学院ホームページもあわせて確認してください。

## 2. 学生証（身分証明書）

本大学院の学生（正規生）は入学と同時に学生証（身分証明書）が交付されます。本証は本大学院学生であることを証明する唯一のもので、常時携帯し、教職員から要請があったときはこれを提示しなければなりません。学生証の提示がないと、授業科目の登録、成績開示、教室の借用等は受けられません。なお携帯にあたっては大切に取り扱い、他人に貸与・譲渡してはなりません。

### （1）学生証番号

学生証番号は、7桁の番号で、在籍中は変わりません。学生生活をする上で必要なものですので、自分の番号は必ず覚えておいてください。

### （2）学生証の裏面シール

学生証は裏面のシールを貼付することにより、はじめて学生証として機能するものです。シール部分をはがさないよう注意してください。シール部分のみの破損、紛失の場合も学生証再発行手続きが必要になります。

#### ①学生証（裏面シール）の交付

新入生への学生証（裏面シール）の交付は、4月のガイダンスで行います。

#### ②学生証（裏面シール）の更新

学生証裏面シールには有効期限（4月1日から翌年4月末日まで）がありますので、毎年4月に更新（貼り替え）しなければなりません。

2年次以上の学生への新年度の裏面シールの交付は、4月上旬に配付します。

### （3）紛失した場合

学生証を紛失した場合は、直ちに、事務課および最寄りの警察署に連絡してください。

学生証の再発行を受ける場合には、事務課にて「学生証再交付願」に手数料 2,000 円分の証紙を貼付し手続きを行ってください。学生証が他人の手にわたると悪用される恐れがあるので注意してください。

## 3. 各種証明書

### （1）証明書自動発行機で発行する証明書

以下の証明書は、新年度（4月中旬）より**証明書自動発行機**（[市ヶ谷キャンパス] 大学院棟：1階大学院課〔取扱時間は窓口取扱時間と同じです〕、58館1階エレベーターホール〔月～金 9：00～21：00、土 9：00～17：00〕、[多摩キャンパス] 各学部事務課〔月～金 9：00～17：00、土 9：00～12：00〕）で即時発行します。発行には学生証が必要です（暗証番号の初期設定は生年月日の月と日が4ケタになっています）。

夏季・冬季休暇期間など授業がない期間には、証明書自動発行機の稼働時間が短縮されますので、余裕をもって入手するようにしてください。

また、学事日程・メンテナンス等により発行機の稼働が休止になる場合があるので注意してください。なお、自動発行機により発行される種類の証明書は、窓口では発行しません。

種 類	手 数 料	備 考
成績証明書（和文）／（英文）	200 円	
修了見込証明書（和文）／（英文）	200 円	
在学証明書（和文）／（英文）	200 円	
学割（学生旅客運賃割引証）	無料	
健康診断証明書（和文）	200 円	※4月健診受診者のみ

## (2) 窓口で発行する証明書〈大学院課スポーツ健康学研究科担当（スポーツ健康学部事務課）のみ受付〉

以下の証明書（または申請）については証紙券売機で証紙を購入し、事務課へ申請してください。申請から発行までは2日～1週間程かかります。夏季一斉休業・冬季休業1週間前から発行日が変わるので掲示で確認の上、申請してください。

種類	申込場所	発行日	手数料（証紙にて）	備考
学位証明書（和文）	事務窓口	要相談	200円	
〃（英文）	事務窓口	1週間後	200円	
健康診断証明書（英文）	診療所窓口	要相談	200円	4月健診受診者のみ
調査書	事務窓口	2日後	600円	修了生は1週間後
教職・資格関係証明書	事務窓口	1週間後	200円	

- ※ 在學生で郵送にて発行を申請する際は下記書類も同封のうえ申請してください。  
本人 ①学生証の写し（本学学生の場合）の同封  
本人以外 ①本人からの委任状②本人の身分証明書の写し③代理人の身分証明書の写しの提示
- ※ 調査書については所見欄等を指導教員等に記入してもらった上で申請してください。不明点がある場合は、事務課に問い合わせてください。
- ※ 電話・FAXによる申し込みは一切受け付けません。修了後に証明書が必要になった場合は、直接窓口で申し込むか、郵送（手数料・返信料を切手にて同封）か、オンラインにより申し込んでください。
- ※ 科目等履修生の各種証明書は、すべて事務窓口で発行します。

## 4. 各種届出

改姓（名）、保証人変更、住所・勤務先変更（本人・保証人）が在学中に生じた場合は、直ちに事務課に届け出てください。上記届出を怠ったために発生した本人の不利益については、大学では責任を負いませんので、すみやかに届け出てください。

## 5. 学割

正式には「学生旅客運賃割引証」といいます。学術研究用、実習用、帰省用等として大学がJRから交付を受けているもので、上記の目的で片道100kmを超える旅行をする場合に普通運賃が2割引になる制度です。

- ・学割の発行は証明書自動発行機で行い、交付枚数は1回2枚まで（夏・春季の休暇に限り4枚まで）（1枚で往復分購入可能）です。使用にあたっては、趣旨をよく理解して使用計画を立ててください。
- ・学割は発行日から3ヵ月以内に使用しないと無効となります。
- ・学割は休学期間中であっても交付を受けることができます。
- ・郵送や電話、FAXでの申請はできないので注意してください。
- ・科目等履修生は学割を発行できません。

## 6. 紛失物、拾得物、盗難届

スポーツ健康学部棟で忘れ物・落とし物・拾い物をした時は、事務課に届け出てください。学部棟以外のキャンパス内で忘れ物・落とし物・拾い物をした時は、学生生活課(多摩キャンパス：EGG DOME 2階)に届け出てください。

構内では盗難が発生することがあります。貴重品類は必ず身につけるようにしてください。また、盗難にあった時には、すみやかに事務課もしくは学生生活課に届け出てください。

## 7. 大学院生研究室の利用

本研究科では、大学院生の研究の場として、スポーツ健康学部棟6階に大学院生研究室を設けています。利用にあたっては、お互いの迷惑にならないよう注意し、私物等はロッカーに保管してください。

**利用可能時間帯** 月～金曜 9:00～21:00まで 土曜 9:00～20:00まで(授業期間)  
月～土曜 9:00～20:00まで(授業期間以外)

※夏季一斉休業期間中および冬季一斉休業期間中、日曜日、祝日は使用できません。

※入学試験実施日は使用できません。

## 8. 学生食堂、売店の利用について

### (1) 学生食堂

スポーツ健康学研究科では、栄養についての学習も非常に重要な位置づけにあると考えており、学部棟内に設置される食堂についても教育活動の一環としてとらえています。健康社会の基本は「食事、運動、休養」と言われており、健康を標榜する本研究科の食堂には栄養教育の観点から、教育活動を支援する役割があり、単に食事を提供するという場(食堂)以上の価値を有しています。

このような場の創出を実現するために、以下の運営を基本としています。

**食事をする際は、指静脈認証システム(ゆびスポ)を利用して、食堂内にて受付を行います。**

- ・栄養価が高く、バランスの良いメニューを提供しています。
- ・メニューは日替わりで数種類を提供しています。
- ・営業は授業期間のみとなります。(ガイダンス・補講・試験期間は営業していません。)
- ・食事代金は、学費と合せて徴収しており、大学からの補助額の組み合わせによって賄われています。
- ・カロリー表や週間メニューの掲示なども行いますので、単に食事するだけでなく実習や休養・懇親の場としても大いに活用してください。

### (2) 売店

スポーツ健康学部棟の食堂の中に売店があります。営業詳細については以下の通りです。

- ◆営業日：食堂営業日に準ずる
- ◆営業時間：10:30～15:30

## 9. 喫煙について

本学キャンパスは建物内全面禁煙になっています。また、スポーツ健康学部棟では、屋内外すべて禁煙になっています。喫煙は、屋外の限られた場所のみです。

## 第18章 各種施設

### 1. 図書館

市ヶ谷・多摩・小金井にそれぞれ図書館があり、3館で約176万冊の図書を所蔵しています。インターネット上でOPAC(法政大学蔵書検索システム)を使った資料の検索、取り寄せや予約が可能です。あわせて、各種データベースや電子ジャーナル、資料横断検索システム「HOSEI Search」も利用できますので大いに活用してください。

なお、利用方法や開館日程については、法政大学図書館ホームページをご確認ください。

図書館 Web サイト：<http://www.hosei.ac.jp/library/>

#### ■市ヶ谷図書館

場 所	80年館 B4F～2F (B4F～B2F 書庫) 富士見坂校舎 1F ラーニングcommons 市ヶ谷田町校舎 5F 閲覧室
開館時間	[月～土] 9:00～22:00 [日・祝] 10:00～17:00
休館日	市ヶ谷キャンパスの大学祭期間 春季・夏季・冬季休業中の一定期間および臨時休館日
問合せ先	閉架カウンター (B1F) TEL: 03-3264-9514

#### ■多摩図書館

場 所	3号館 (図書館・研究所棟) B2F～4F (B2F～B1F 書庫)
開館時間	[月～金] 9:00～21:00 [土] 9:00～18:00 [日・祝] 10:00～17:00
休館日	春季・夏季・冬季休業中の一定期間および臨時休館日
問合せ先	2Fカウンター TEL: 042-783-2264 1Fカウンター TEL: 042-783-2274

#### ■小金井図書館

場 所	南館 B1F (書庫)・1F (第二閲覧室、ラーニングcommons)・ 3F (第一閲覧室、スタディールーム、メディアライブラリー)
開館時間	第二閲覧室 第一閲覧室・スタディールーム [月～金] 9:00～21:00 [月～金] 9:00～21:00 [土] 9:00～19:00 [土] 9:00～19:00 [日・祝] 10:00～17:00 メディアライブラリー [月～金] 10:30～18:30
休館日	小金井キャンパスの大学祭期間 春季・夏季・冬季休業中の一定期間および臨時休館日
問合せ先	第二閲覧室カウンター TEL: 042-387-6066 第一閲覧室カウンター TEL: 042-387-6067

## 2. スポーツ健康学部棟情報実習室・カフェテリア（スポーツ健康学部棟5階）

情報実習室のパソコンは、授業での使用時以外であれば自由に利用することができます。情報システムや学習支援システムの確認、レポートの作成、インターネットの活用など大いに利用してください。なお、情報実習室・カフェテリアに隣接している情報準備室にはスタッフが常駐しており、ゼミ活動に対してはノートパソコンの貸し出しなども行っています。

開室時間：授業期間中の月曜日～金曜日 9：00～19：50

（ただし、情報実習室は授業での利用が優先となります。）

- 原則として補講期間、定期試験期間は閉室となりますが、詳細は多摩情報センターホームページを確認してください。
- スタッフの急な欠員などやむを得ない事態が発生した場合は閉室となります。
- ガイダンス時に配布した、ログイン ID とパスワードが必要になります。
- 情報実習室内・カフェテリアでは、飲食禁止となっております。
- 急遽授業で使用する場合があります。その際は、授業を優先します。
- 不明な点はスタッフまでお問い合わせください。

スポーツ健康学部棟以外に総合棟3階の情報実習室1・2・3、総合棟の情報カフェテリアと、図書館の学習室にはパソコンを設置しており個人利用ができます。また、多摩キャンパスの学生向けにはノートパソコンの貸し出しも行っています。

## 3. 総合情報センター

総合情報センターは、コンピュータおよび情報ネットワークの整備・管理・運用を行うとともに、コンピュータ等を用いた教育・研究および事務の推進を図っています。

各キャンパスの情報センターでは、ユーザ ID を所有している学部生・大学院生に対して、情報カフェテリアや情報実習室の開放、ノート PC 等の機器の貸し出しなどを行っています。

### ・ユーザ ID について

入学時に全員に ID を発行します。

利用できるサービスは以下の通りです。

- 電子メール（Gmail）
- キャンパス内有線 LAN、無線 LAN
- VPN 接続
- 情報カフェテリアおよび情報実習室
- 貸出ノート PC
- オンデマンドプリンター（市ヶ谷は有料）
- 情報システム（授業に関する照会・時間割・履修登録等）ほか

### ・全学ネットワークの利用について

法政大学全学ネットワークシステムでは、学生向けにメールシステムや無線 LAN サービスなどを提供しています。

個人で用意したノート PC 等を持ち込み、ネットワークを利用することも可能です。利用方法については法政大学全学ネットワークシステムユーザ支援 WEB サイトをご確認ください。

Web サイト

法政大学全学ネットワークシステムユーザ支援 Web サイト  
<http://netsys.hosei.ac.jp/>

## ■多摩情報センター

場 所	総合棟 3F
開室時間	[月～金] 9:00～20:00 (授業期間外は9:00～11:30、12:30～17:00) [土] 閉室
Web サイト	多摩情報センターに関する詳細は以下の Web サイトを参照してください。 多摩情報センターWeb サイト <a href="http://tedu.ws.hosei.ac.jp/">http://tedu.ws.hosei.ac.jp/</a>

### ・情報カフェテリアの利用

場 所 開室時間 (授業期間中)	<p>夏季・冬季・春季休業期間等は掲示または Web サイトで確認してください。</p> <p><b>総合棟情報カフェテリア 1</b> [月～金] 9:00～19:50 (試験期間は16:50まで)</p> <p><b>総合棟情報カフェテリア 2</b> [月～金] 9:00～16:50</p> <p><b>経済学部棟・スポーツ健康学部棟情報カフェテリア</b> [月～金] 9:00～19:50 補講期間は閉室、試験期間は16:50まで</p> <p><b>社会学部棟2階自習室</b> 自習室開室時間内</p> <p><b>情報実習室 (総合棟、経済学部棟、現代福祉学部棟、スポーツ健康学部棟)</b> [月～金] 9:00～19:50 授業時間を除き開放。補講期間は閉室、試験期間は16:50まで</p> <p><b>図書館3階学習室 1、2</b> 図書館開館スケジュールに準じます。 ※市ヶ谷、小金井キャンパスの学生はゲスト ID により図書館学習室を利用できます。</p>
Web サイト	多摩情報センターWeb サイト <a href="http://tedu.ws.hosei.ac.jp/">http://tedu.ws.hosei.ac.jp/</a> 開館状況、空室状況等を掲載しています。

### ・ノートパソコン、プロジェクタ、ビデオカメラの貸出 (多摩キャンパスの学生のみ)

場 所 受付時間 (授業期間中)	<p>夏季・冬季・春季休業期間等は掲示または多摩情報センターWeb サイトで確認してください。</p> <p><b>総合棟3階多摩情報センター</b> [月～金] 9:15～19:00</p> <p><b>図書館3階学習室 1</b> 館内貸出 : [月～金] 12:00～17:30、[土] 12:00～14:30</p>
------------------------	--

## 4. 保 健 課

### ■多摩診療所

場 所	総合棟 1F
診療受付時間	[月～金] 10:00～11:15、12:30～15:45 (水のみ 12:30～15:30) *授業期間外は短縮になります。詳細は大学ホームページ等でご確認ください。 *診察時には、学生証、健康保険証をお持ちください。
問合せ先	TEL : 042-783-2161

医師による診療、健康相談、ケガ等の応急処置を行っています。また大学では、毎年度 4 月に定期健康診断を所属のキャンパスで実施しています。年に一度は健康チェックのため、自覚症状がなくとも受診しましょう。大学（診療所）からの「健康診断証明書」（奨学金申請、実習、就職活動、各種試験等に必要）を必要とする方は、必ず受診してください（未受診者へは、証明書発行が出来ません）。

## 5. グローバル教育センター事務部

グローバル教育センター事務部には 3 つの課が置かれ、国際交流課と国際支援課では、海外の大学・研究機関との研究者の受け入れ・派遣、外国人留学生の受入れ、本学学生の海外派遣、海外の大学生のためのセミナー開講、海外の大学からの交換留学生の受入れなどを行っています。グローバルラーニング課では世界を舞台に活躍する人材を育成するための様々な取り組みを行っています。

### ■多摩キャンパス（多摩グローバル担当）

場 所	総合棟 B1F
開室時間	[月～金] 9:00～11:30、12:30～17:00
問合せ先	TEL: 042-783-2130

### ■多摩キャンパス（多摩Gラウンジ担当）

場 所	総合棟 B1F
開室時間	[月・火・木・金] 9:00～11:30、12:30～17:00
問合せ先	TEL: 042-783-3018

## 6. 研究開発センター

場 所	新見附校舎 1F
開室時間	[月～金] 9:00～11:30、12:30～17:00 [土] 9:00～12:00 *土曜日は都合により閉室となる場合があります。
業務内容	①日本学術振興会特別研究員に関すること ②外部資金公募情報に関すること ③科学研究費助成事業（科研費）に関すること ④競争的外部資金に関すること ⑤その他、研究助成に関すること
問合せ先	TEL: 03-5228-1244 E-mail suisin@adm.hosei.ac.jp
Web サイト	<a href="http://kenkai.ws.hosei.ac.jp/index.html">http://kenkai.ws.hosei.ac.jp/index.html</a>

## 7. 経 理 課

受付時間	[月～金] 9:00～11:30、12:30～17:00
問合せ先	TEL: 03-3264-9270

### ・学費振込依頼書の発送

在校生 4月中旬に年間（春学期・秋学期）分をまとめて郵送します。

新入生 6月下旬に秋学期分を郵送します。

・学費振込依頼書の再発行

学費振込依頼書未着・紛失の際は、学生証を持参の上、総合棟 4 階の「多摩事務部総務課」に申し出るか、上記問合せ先にご連絡ください。

## 8. キャリアセンター

### ■市ヶ谷キャンパス

場 所	外濠校舎 2F
事務室 開室時間	[月・水・木・金] 9:00～18:00 [火] 12:30～18:00 [土] 9:00～12:00
就職相談 (受付)	[月・水・木・金] 9:00～16:30 [火] 12:30～16:30 [土] 9:00～11:00 *就職相談は、原則 30 分以内とします。 *時期によっては、土曜日の相談は「予約制」となる場合があります。
問合せ先	TEL: 03-3264-9604・9606

### ■多摩キャンパス

場 所	総合棟 2F
キャリア カフェ 開室時間	[月・水・木・金] 9:00～17:00 [火] 12:30～17:00 [土] 9:00～12:00
就職相談 (受付)	[月・水・木・金] 9:00～11:00、12:30～16:00 [火] 12:30～16:00 [土] 事前予約制 *就職相談は、原則 30 分以内とします。
問合せ先	TEL: 042-783-2171

就職活動は、自分の価値観や志向・特性など自分を知る作業と、自分の興味ある業界・企業・職種について情報を集めて整理・研究する作業から始まります。

キャリアセンターでは、さまざまな就職情報を提供して、皆さんの就職活動を支援しています。また、1対1の個別相談を重視しており、就職活動時には業界・企業研究のアドバイスやエントリーシートの相談、面接の練習など様々な相談に応じています。積極的に活用してください。

## 9. スポーツ健康学部資料室（スポーツ健康学部棟 5F）

開室時間：授業期間中の月～金曜日 9:20～11:20、12:40～16:40

※開室日・資料室の利用方法については、掲示版をご参照ください。

## 10. 校外諸施設

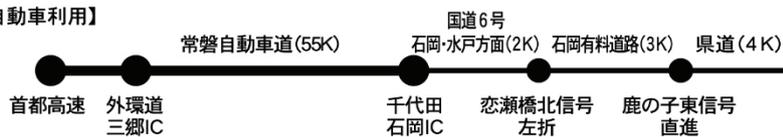
本学には、学生が利用できる校外施設として次の施設があります。

### ■石岡総合体育施設

所在地	茨城県石岡市半ノ木 11025-1 TEL : 0299-22-2331
交通	上野～石岡 特急利用 1 時間、石岡駅よりタクシーで 10 分
設備	<p><b>面積</b> 約 152,000m<sup>2</sup></p> <p><b>宿泊施設</b> 「スポーツハウス 96」 鉄筋 3 階建 120 名収容 全館冷暖房完備 宿泊室 31 室 (和室・洋室) ミーティングルーム 3 室 (48 名 1 室・24 名 2 室)、大型テレビ・ビデオ、 救護室・洗濯室・浴室・ラウンジ等</p> <p>「スポーツハウス 98」 鉄筋 3 階建 80 名収容 全館冷暖房完備 宿泊室 22 室 (和室・洋室) ミーティングルーム 1 室 48 名 (大型テレビ・ビデオ) トレーニングルーム 1 室 (各種トレーニング機器) 洗濯室・浴室・ラウンジ等</p> <p><b>体育施設</b> 野球場・ラグビー場・サッカー場 各 1 面 道場 (柔道、空手、剣道等で利用できます) テニスコート (ハード 5 面、クレール 4 面)</p>
利用料金	宿泊料金 (1 泊 3 食付) = 4,440 円
申込方法	会議室案内所 (一口坂校舎 1F) (TEL : 03-3264-9396) に利用日の 3 ヶ月前から 7 日前までに申し込んでください。

#### 交通機関

##### 【自動車利用】



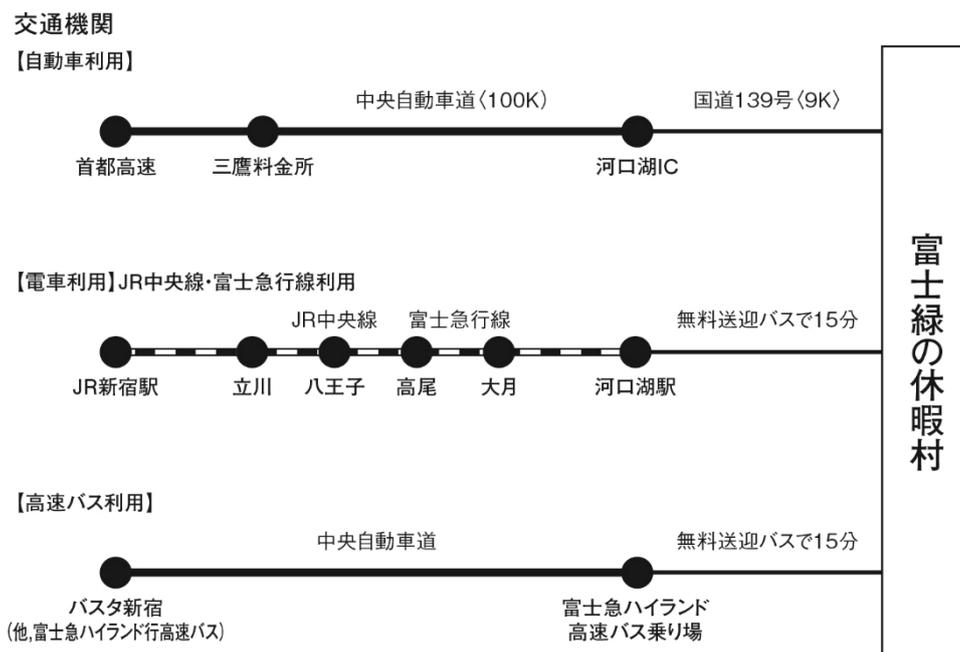
##### 【電車利用】常磐線(石岡まで特急 1 時間)



法政大学  
石岡総合体育施設

■富士緑の休暇村（本学教職員による引率が必要です）

所在地	〒401-0320 山梨県南都留郡鳴沢村ジラゴンノ 8532-5 TEL：0555-85-2236
交通	富士急行河口湖駅もしくは富士急ハイランド高速バス乗り場より無料送迎バスあり。
料金 (本学学生・ 大学院生・ 附属校生及び 教職員)	宿泊費＝1泊2食付¥3,900(税込) 1泊3食付¥4,450(税込) 年間を通じて同一料金となります。※一部除外日あり。上記料金の適用は、本学学生・大学院生・附属校生・教職員に限ります。
利用にあたって	利用にあたっては、本学教職員による引率が必要なほか、諸条件があります。詳細は以下のお問い合わせ先までお願いします。
申込方法	4ヶ月前の1日より受付開始となります。 希望日程・人数・利用施設等をご確認の上、以下にお問い合わせください。
お問い合わせ先	エイチ・ユーマイコム学生サービスセンター 〒102-8160 千代田区富士見 2-17-1 法政大学外濠校舎 6階 営業時間：10：00～18：00（土日祝日除く） TEL：03-5215-3401 FAX：03-5215-3402 E-mail：hosei-hojokin@maicom.co.jp



## 第19章 大学の取り組み

### 法政大学プライバシーポリシー

学校法人法政大学（以下、「本学」という。）は、わが国の高等教育の充実に寄与すべき学校法人として、個人に関する情報であって、特定の個人を識別できる情報又は他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができるもの（以下、「個人情報」という。）を取得、利用、管理することがあります。その際、本学は、個人情報の保護に関する法律（以下、「個人情報保護法」という。）等の法令を遵守し、個人情報を保護するとともに、できる限り、個人の意思を尊重しつつ、個人情報を取り扱うことが社会的責務と考え、次の取り組みを推進してまいります。

#### （１）個人情報の保護、安全管理措置

- ・本学は、個人情報保護法等の法令を遵守いたします。
- ・本学は、個人情報の保護、運用、厳重な管理を実施いたします。  
また、個人情報保護に関する監査を実施するとともに、学内体制、運用の改善を図ります。また、本学が個人情報の取扱いを外部に委託する場合には、委託先の監督を実施いたします。
- ・本学は、個人情報保護及び特定個人情報取扱規程等の学内規程を定め、教職員に個人情報の保護を徹底し、教育啓発活動を推進いたします。
- ・本学は、保有する個人情報について、不正アクセス、漏洩、滅失又は毀損等の管理上のリスクが存在することを常に強く意識し、これらに対する人的、物的安全管理措置を講じます。
- ・本学は、本プライバシーポリシーや学内規程の運用について、法令等の改正、社会情勢の変化、監査の結果等に応じて継続的に改善してまいります。

#### （２）個人情報の取扱い

- ・取得する個人情報の利用目的について  
本学は、必要に応じて個人情報を収集する際には、その利用目的を明らかにし、収集した個人情報の使用範囲を目的達成のために必要な範囲に限定し、適切に取扱うように努めます。  
また、取扱う個人情報の利用目的を変更する場合は、変更前の利用目的と関連性を有すると合理的に認められる範囲内で行い、変更された利用目的を本人に通知、または公表します。
- ・第三者提供  
本学は、以下の①から⑥に記載する場合を除き、個人データ（「個人データベース等」を構成する個人情報）をあらかじめ本人の同意を得ないで、第三者に提供することはありません。  
また、個人データに該当しない個人情報についても、できる限り個人データに準じて取扱います。
  - ①法令に基づいて個人情報を取扱う場合
  - ②人の生命、身体又は財産の保護のために必要な場合であって、本人の同意を得ることが困難である場合
  - ③公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき
  - ④国の機関又は地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要があるため、本人の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき
  - ⑤本学「個人情報の取扱ガイドライン」に基づいて提供するとき
  - ⑥個人情報保護法に基づくオプトアウトを行っている場合

#### （３）問合わせ先

個人情報に関する問合わせは、  
問合わせ窓口（法政大学総務部庶務課 TEL：03-3264-9223 平日 9：00 ～ 17：00）にてお受けいたします。

## 障がい学生支援室

### ■障がい学生支援室とは

大学では、様々な障がい（身体・発達）を持った学生が学んでいます。

障がい学生支援室は、障がいのある学生がその他の学生と同じレベルで講義を受講できるようにするための「講義保障」を中心に、学生が社会へ出るための自立をサポートし、障がい学生と支援学生の双方が成長できるコミュニティ作りを目指しています。

### ■支援室の主な活動

支援室の主な活動は以下のとおりです。

- ・障がいのある学生との個別面談
- ・ひとりひとりの学生に合った講義保障の手配
- ・定期試験や授業内試験時の配慮
- ・教員への配慮事項の伝達 など

### ■多摩障がい学生支援室

キャンパス	場所	電話	開室時間	メールアドレス
市ヶ谷キャンパス	外濠校舎 1階	03-3264-6718	[月～金] 9:00～11:30 12:30～17:00	ishien@hosei.ac.jp
多摩キャンパス	総合棟 2階	042-783-4038	[月～金] 9:00～11:30 12:30～17:00	tmshien@hosei.ac.jp
小金井キャンパス	管理棟 4階	042-387-4556	[月～金] 9:00～11:30 12:30～17:00	kshien@hosei.ac.jp

## ハラスメント相談室

### ■ハラスメント防止宣言

「学校法人法政大学は、ハラスメントを禁止しています」

本学のすべての構成員が個人として尊重され、ハラスメントのない快適な就学環境において、学ぶ権利が保障されるように努めます。本学はハラスメント防止・対策体制を定め、ハラスメントの防止に取り組みます。

### ■ハラスメント相談室

専門相談員がお話を伺い、解決に向けてサポートします。あなたの名誉やプライバシーに配慮しますので、どうぞ安心してご相談ください。

場 所	市ヶ谷キャンパス ※多摩キャンパス、小金井キャンパスへの巡回相談も行います。
開 室	月～金 9:30～11:30, 12:30～16:30（11:30～12:30 は応相談） ※土日、祝日は閉室
相談方法	相談は面談を基本としています。事前予約の上お越しください。
連絡方法	電話：03-3264-4409 FAX：03-3264-4410 E-mail：stopharass@hosei.ac.jp ※Eメールでのご連絡の場合は、パソコンからのメール返信になりますので「@adm.hosei.ac.jp」ドメインからのメールを受信できるように設定してから送信してください。

## ■大学におけるハラスメントとは

学生生活の様々な場面における、相手の意に反した不快な言葉や行為を指します。相手はその言動を「不当」「不快」と受けとめる場合はハラスメントになる可能性があります。一方で価値観や感じ方の基準は人それぞれ多様なものであり、その言動がハラスメントにあたるかどうかの境界線は、相手との関係や前後の状況により変化します。

本学では、セクシュアル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント、パワー・ハラスメントを相談対象とします。また妊娠、出産、育児、介護等を理由とする不利益取扱いや嫌がらせもハラスメントになります。本学のハラスメントの定義については、公式 Web サイトのガイドラインをご参照ください。

<例>

- 成績評価や研究指導などの便宜をほのめかして性的関係をせまる。
- 執拗に性的行為への誘いや交際の働きかけを行う（ストーカー行為を含む）。
- 「女らしくない」「男のくせに女々しい」などの性差別・性役割観を押し付ける。
- 正当な理由なく、必要な教育・研究指導をしない。
- 正当な理由なく、学会や論文などで研究成果の発表を認めない。成果の横取りをする。
- 教育や研究に無関係な雑務または私用を強要する。

## ■ハラスメントのないキャンパスのために

### ・被害にあったら

- ハラスメントを受けていると感じたら、一人で悩まずに、ハラスメント相談室に連絡してください。相談室には家族や信頼できる友人、教職員と一緒に来室することもできます。
- あなたが受けた言動について、日時・場所等がわかる記録を残してください。相談や申立ての際に役立ちます。
- 緊急の場合や暴力行為などにより心身に危険を感じる場合は、周囲に助けを求め、警察に連絡をしてください。

### ・加害者にならないために

- 反対意見や「ノー」という意思表示がないからといって、それが合意・同意とは限りません。指導者や先輩など立場が上の方は十分な配慮をしてください。
- 相手がハラスメントとして受けとめていることがわかったら、すぐに止めて真摯な態度で謝罪しましょう。

### ・ハラスメントをみかけたら

- ハラスメントを見過ごさない勇気を持ちましょう。もしあなたが相談されたら、ハラスメント相談室を教えてあげてください。

### ・女性研究者への支援

相談体制として、女性の専門相談員を月～金曜日まで週 5 日配置しています。また、相談室スタッフとして、女性の専任教員や職員も相談や審査等において対応し、女性相談者の心理的負担に配慮できる体制をとっています。

## ■Q & A

### Q 1. 忙しくて行く時間がないので、メールで相談できませんか。

A. 最近では、メール相談が比較的一般的なものになってきました。時間の調整が難しい場合、メール相談ができると便利ですが、ハラスメント相談室での相談は、面談を基本にしています。

メールは時間や場所を問わない点でも、たしかに便利なのですが、誤送信をはじめ相談内容を守秘する上でリスクがあります。また、ハラスメントの解決に向けては、適切な手立てを相談者ご本人と一緒に考えていきます。

相談者から送られてきたメールだけをもとに、相談室が独自で調査をしたり対応策をとったりすることは、本学のハラスメント防止・対策規程の上でもできないことになっています。

授業時間の関係で面談時間をとるのが難しい場合があると思いますが、可能な限り時間を調整いたしますので、まずはご連絡ください。

**Q2. 私の受けた行為がハラスメントなのかどうかを知りたいのですが。**

A. 「ハラスメントなのかどうかを知りたい」という気持ちの裏には、いろいろな思いがあると思います。ハラスメントを受け、「こちらにも落ち度があったのではないか」と必要以上に自分を責めてしまうような時、「それはハラスメントだよ」と言ってもらっただけで救われることもあるでしょう。

ハラスメント相談室は、ハラスメントにあたるかどうかの判断はしませんが、その事柄をめぐる相談者の気持ちを踏まえながら、問題の解決方法を一緒に探ります。

相談者が今後のことを考え、解決を図りたいと希望するときは、申立ての手続きをサポートします。申立てが受理された場合は、審査委員会が当事者双方のお話を聞き、防止・対策委員会が、ハラスメントにあたるかどうかを最終的に判断します。

■ハラスメントに関する詳細は公式 Web サイト

(<http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/torikumi/harassment/index.html>) をご覧ください。

## 学生相談室

■学生相談室とは…大学院生も利用できます。

学生相談室は、大学生活で直面するさまざまな問題について、あなたとともに考え、解決の糸口を探していったり、新しい視点を見つけたりなど、よりよい「次の一歩」が踏み出せるように、お手伝いをしているところです。

誰に相談してよいかわからないとき、気軽に利用してください。カウンセラーが、ていねいにお話を聞き、どうしたらいいかを一緒に考えていきます。

【たとえばこんなときに】

- ・人間関係がうまくいかない
  - ・自分の性格を知りたい
  - ・最近眠れない
  - ・学業（勉強）で悩んでいる
  - ・大学生活になじめない
  - ・将来のことで迷っている
- など。

■学生相談室の利用方法

直接来室するか、電話で予約してください。

相談時間は、1回約30～50分でその人に合わせて必要な時間をお取りしています。希望により継続することも可能です。

一人では心細いと感じられる方は、友人や、家族の方と一緒に来室されても構いません。相談内容など秘密は守られますので、安心して来室してください。

(来室者ご本人、または他者の生命、身体に危険が及ぶ可能性がある場合、法律に触れるような内容の場合などは、例外的に、ご家族や関係者の方にお知らせすることがあります。)

キャンパス	場所	電話	受付時間
市ヶ谷キャンパス	富士見坂校舎 4階	03-3264-9493	[月・金] 9:30 ～ 11:30、12:30 ～ 17:00 [火～木] 9:30 ～ 11:30、12:30 ～ 16:30
多摩キャンパス	総合棟 2階	042-783-2158	[月～金] 9:30 ～ 11:30、12:30 ～ 16:30
小金井キャンパス	管理棟 4階	042-387-6050	[月～金] 9:30 ～ 11:30、12:30 ～ 16:30

## ■ インフォメーション

学生相談室は、相談だけでなく、次のようなことも行っています。

### ・ 心理テスト

性格や対人関係の傾向を知るためのテストです。結果は、カウンセラーが、個別に面談しながらお伝えします。自分を知るきっかけとして利用してください。

### ・ グループワークの企画

学内の掲示板で随時お知らせしますので、興味のある方は、ぜひ参加してみてください。利用が初めての方も大歓迎です。

### ・ 法律相談（原則月 1 回）

弁護士による法律相談を原則月 1 回実施しています。開催日は学内の掲示板と学生相談室ホームページでお知らせします。希望される方は、予約をお願いします。

## グリーン・ユニバーシティをめざして

法政大学は、教育・研究をはじめとするあらゆる事業活動を通して、「持続可能な社会」創りに貢献しています。人間環境学部の設置、1999 年に市ヶ谷キャンパス大学院棟における ISO14001 認証取得後、2017 年度には市ヶ谷、多摩、小金井キャンパスも包摂した法政大学独自の環境マネジメントシステム（EMS）活動を始動し、本学の環境への積極的な取り組みは「グリーン・ユニバーシティをめざして」という理念のもとで推進しています。

本学における環境への取り組みは環境センターホームページより確認してください。

## 第20章 資料

### 法政大学大学院諸規則一覧

本大学院の諸規則は以下のとおりです。各規則は、大学院ホームページ「学生生活について」に掲載しています。

#### 法政大学大学院学則

法政大学大学院学則

#### 法政大学学位規則

法政大学学位規則

退学者の課程博士申請に伴う再入学に関する規程

学位記等再交付の取り扱いに関する規則

#### 法政大学大学院関連諸規程

法政大学大学院教育研究補助金規程

法政大学大学院学生研究補助金規程

法政大学 100 周年記念大学院修士課程奨学金給付規定

法政大学大学院博士後期課程研究助成金給付規程

大学院学生海外留学に関する規程

大学院学生海外留学補助金規定

法政大学大学院政治学研究科国際政治学専攻特別海外留学奨学金規程

法政大学大学院学生研究奨励金給付規程

法政大学大学院学生会等発表補助金規程

法政大学大学院現地調査実施費用補助規程

法政大学大学院諸外国語による論文等校閲補助規程

法政大学大学院学生論文掲載料補助規程

法政大学大学院優秀博士論文出版助成金規程

法政大学大学院生チューターに関する規程

法政大学大学院科目等履修生規程

法政大学大学院研修生・委託研修生・特別研修生規程

法政大学大学院研究生規程

法政大学大学院研究員規程

法政大学大学院紀要要領〔人文・社会科学系〕

法政大学大学院紀要要領〔理工系〕

図書館利用規程

## 法政大学・大学院の概要

### 大学（学部）の歩み

- 1880年 東京法学社（講法局・代言局）設立
- 1881年 東京法学社の講法局を独立させ東京法学校となる
- 1883年 政府の法律顧問としてフランスから招かれていたパリ大学教授がアノード博士が教頭に就任
- 1886年 日仏協会の前身である仏学会（会長・辻新次）によって東京仏学校設立
- 1889年 東京法学校と東京仏学校とが合併して、和仏法律学校と改称。箕作麟祥博士が校長となり、自由、清新な学風をさらに発展させた
- 1903年 専門学校令により財団法人和仏法律学校法政大学と名称を改め、予科、大学部、専門部、高等研究科を設置。初代総理（校長）に、わが国「民法の父」といわれる梅謙次郎博士が就任
- 1920年 大学令により初めて私立大学の設置が認可され、財団法人法政大学となる。法学部、経済学部を設置
- 1921年 麴町区富士見4丁目（現在地）に校舎を新築し移転
- 1922年 法学部に文学科、哲学科を新設して法文学部となる
- 1944年 工学部の前身の法政大学航空専門学校を設立
- 1947年 法文学部が法学部、文学部に改編され、経済学部と合わせて3学部となる。同年7月に通信教育課程を設置
- 1949年 学校教育法により新制大学として発足
- 1950年 工学部を設置
- 1951年 私立学校法により学校法人法政大学となる。新制大学院（人文科学研究科・社会科学研究科）設置
- 1952年 社会学部を設置
- 1959年 経営学部を設置
- 1965年 大学院工学研究科を設置
- 1980年 創立100周年
- 1984年 多摩校舎竣工。経済学部第一部、社会学部第一部1年次生、多摩キャンパスで授業開始
- 1992年 92年館（大学院棟）竣工
- 1993年 工学部の学科を改組し、8学科編成となる。
- 1994年 小金井キャンパスに実験・実習・図書館棟竣工
- 1999年 国際文化学部、人間環境学部を設置
- 2000年 現代福祉学部、情報科学部を設置  
市ヶ谷キャンパスに「ボアソナード・タワー」竣工
- 2001年 経済学部第一部国際経済学科を設置
- 2002年 社会学部第一部メディア社会学科を設置
- 2003年 キャリアデザイン学部、文学部心理学科、経営学部経営戦略学科・市場経営学科を設置
- 2004年 工学部システムデザイン学科を設置、9学科編成となる。  
小金井キャンパスに「マイクロ・ナノテクノロジー研究センター」竣工
- 2005年 法学部国際政治学科を設置／経済学部現代ビジネス学科を設置／スポーツ・サイエンス・インスティテュート（SSI）を設置
- 2006年 工学部生命機能学科を設置、10学科編成となる。  
グローバル学術研究インスティテュート（IGIS）開講  
富士見坂校舎・新一口坂校舎使用開始
- 2007年 工学部3学科（建築学科、都市環境デザイン工学科、システムデザイン学科）を改組転換し、デザイン工学部を設置  
市ヶ谷キャンパスに「外濠校舎」竣工。
- 2008年 理工学部、生命科学部、GIS（グローバル教養学部）を設置  
市ヶ谷キャンパスに「市ヶ谷田町校舎」竣工
- 2009年 スポーツ健康学部を設置
- 2010年 現代福祉学部現代福祉学科が福祉コミュニティ学科と臨床心理学科の2学科編成となる。
- 2011年 理工学部創生科学科を設置
- 2014年 生命科学部応用植物科学科を設置
- 2016年 市ヶ谷キャンパスに「富士見ゲート」竣工
- 2019年 市ヶ谷キャンパスに「大内山校舎」竣工

## 大学院の歩み

- 1951年 人文科学研究科に哲学・日本文学・英文学専攻、社会科学研究科に経済学専攻のそれぞれ修士課程を設置
- 1952年 人文科学研究科に国史学専攻（夜間）と社会科学研究科に私法学専攻の修士課程を設置
- 1953年 人文科学研究科に地理学専攻（夜間）の修士課程を設置  
大学院専用校舎 53 年館竣工
- 1954年 国史学専攻を日本史学専攻に名称変更
- 1955年 哲学・日本文学・英文学・日本史学・地理学専攻、経済学・私法専攻に博士後期課程を設置
- 1956年 社会科学研究科に政治学専攻・修士課程を設置
- 1958年 政治学専攻に博士後期課程を設置
- 1964年 社会科学研究科に社会学専攻・修士課程を設置
- 1965年 工学研究科を設置し、修士課程に機械工学・電気工学・建設工学専攻を設置
- 1966年 社会学専攻に博士後期課程を設置
- 1968年 電気工学専攻に博士後期課程を設置
- 1985年 工学部大学院棟竣工
- 1986年 機械工学・建設工学に博士後期課程を設置
- 1987年 工学研究科にシステム工学専攻・修士課程を設置
- 1989年 システム工学専攻に博士後期課程を設置
- 1991年 私法学専攻を法律学専攻に名称変更
- 1992年 経営学専攻を経済学専攻から分離独立させ、経営学専攻に修士・博士後期課程を設置。経済学と経営学専攻の修士課程で昼夜開講制を実施。  
大学院専用棟 92 年館（現大学院棟）竣工
- 1995年 経営学専攻・博士後期課程で昼夜開講制を実施（日本初の夜間博士後期課程）
- 1998年 法律学専攻・修士課程に法曹コースを設置し、従来のものを研究コースとした。政治学専攻・修士課程で昼夜開講制を実施
- 2000年 工学研究科に物質化学・情報電子工学専攻の修士・博士後期課程を設置  
電気工学専攻・修士課程に 1 年制 IT プロフェッショナルコースを設置  
人文科学研究科・全専攻修士課程で昼夜開講制を設置
- 2001年 社会科学研究科に政策科学専攻（昼夜開講制）修士・博士後期課程を設置
- 2002年 人間社会研究科および情報科学研究科（ともに修士・博士後期課程）を設置
- 2003年 社会科学研究科環境マネジメント専攻修士課程および国際日本学インスティテュートを設置  
社会科学研究科経済学専攻・博士後期課程で昼夜開講制を実施
- 2004年 法務研究科、イノベーション・マネジメント研究科、国際文化専攻、国際日本学インスティテュート（博士後期課程）を設置  
社会科学研究科を改組し、経済学研究科経済学専攻、法学研究科法律学専攻、政治学研究科政治学専攻、社会学研究科社会学専攻、経営学研究科経営学専攻、政策科学研究科政策科学専攻、環境マネジメント研究科環境マネジメント専攻を設置
- 2005年 経営学研究科キャリアデザイン学専攻、システムデザイン研究科システムデザイン専攻、イノベーション・マネジメント研究科アカウンティング専攻を設置
- 2006年 人文科学研究科心理学専攻を設置  
人文科学研究科国際文化専攻を改組し、国際文化研究科国際文化専攻を設置
- 2008年 政策創造研究科政策創造専攻を設置
- 2010年 政治学研究科に国際政治学専攻を設置  
工学研究科建設工学専攻とシステムデザイン研究科を改組し、デザイン工学研究科建築学専攻、都市環境デザイン工学専攻、システムデザイン専攻を設置  
工学研究科に生命機能学専攻を設置

- 2011年 国際日本学インスティテュートが改組転換の上、人文科学研究科に設置  
人文科学研究科日本史学専攻を史学専攻へ名称変更
- 2012年 政治学（夜）、政策科学、環境マネジメント、政策創造政治・行政プログラムの4研究科を統合、公共政策研究科として設置  
工学研究科生命機能学専攻内に植物医科学領域を設置
- 2013年 工学研究科を改組し、理工学研究科機械工学専攻、電気電子工学専攻、応用情報工学専攻、システム工学専攻、応用化学専攻、生命機能学専攻を設置  
経営学研究科から独立改組し、キャリアデザイン学研究科キャリアデザイン学専攻を設置  
社会学専攻・修士課程にメディアコースを設置し、従来のものを社会学コースとした。
- 2015年 連帯会社インスティテュート（修士課程）を設置
- 2016年 公共政策研究科にサステナビリティ学専攻を設置、スポーツ健康学研究科スポーツ健康学専攻を設置  
理工学研究科と情報科学研究科との横断型英語学位プログラム（IIST）を設置  
理工学研究科システム工学専攻をシステム理工学専攻へ名称変更
- 2017年 経済学研究科経済学専攻・修士課程に1年制を設置
- 2019年 人文科学研究科国際日本学インスティテュートと上海外国語大学日本文化経済学院との共同学位（ダブル・ディグリー）プログラム開設



スポーツ健康学部棟校舎案内図

6階 ヒューマンカロリメーター・院生研究室・映像編集室・  
撮影スタジオ・バイオメカニクス実験室・講義室(604)  
5階 情報カフェテリア・情報実習室・資料室  
4階 教員研究室・ミーティングルーム  
3階 ゼミ室・教員研究室・ミーティングルーム  
2階 健康科学実習室  
1階 講義室(102)

事務室・講師室

2階 筋力測定実習室・リハビリテーション実習室  
1階 講義室(103)

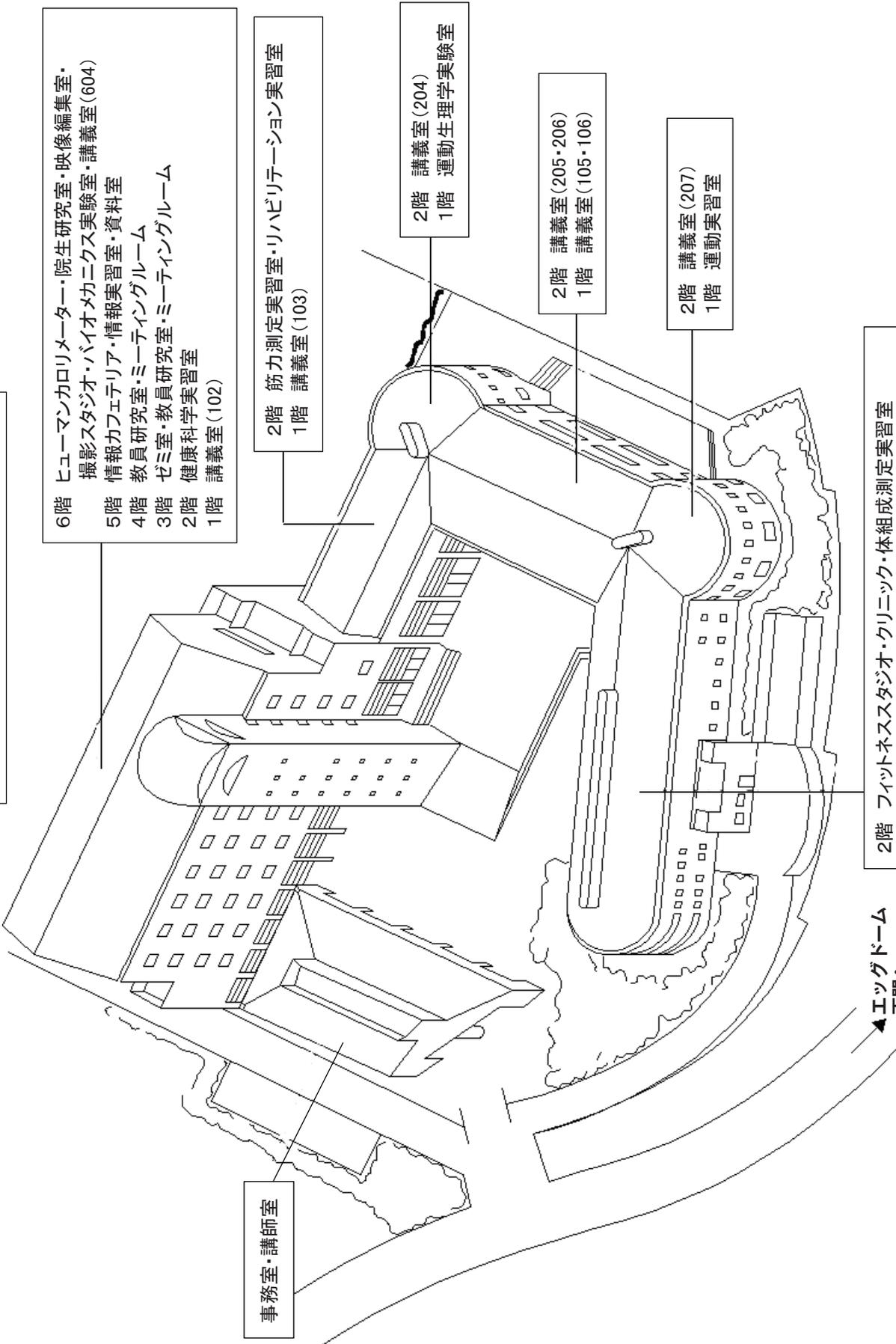
2階 講義室(204)  
1階 運動生理学実験室

2階 講義室(205・206)  
1階 講義室(105・106)

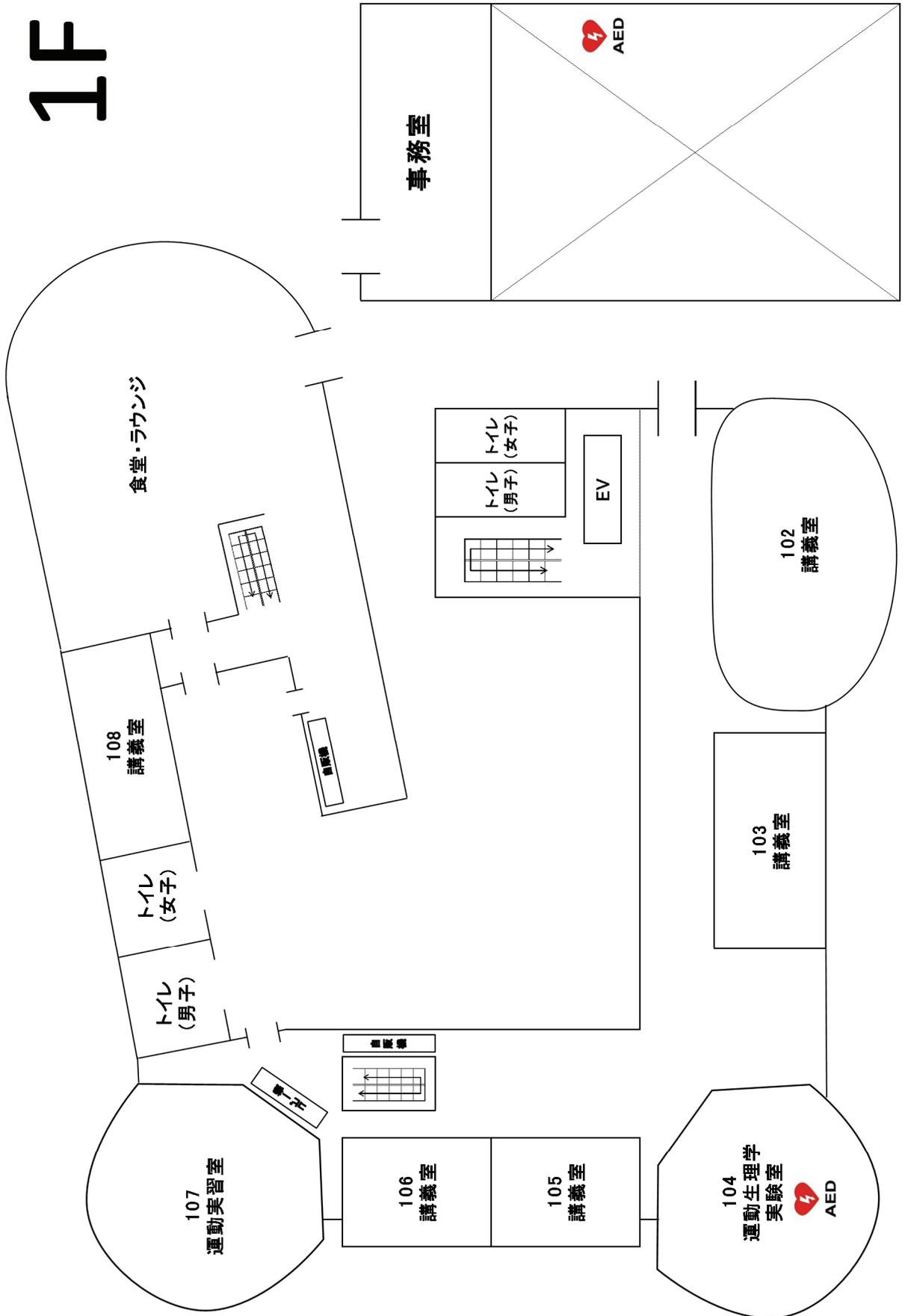
2階 講義室(207)  
1階 運動実習室

2階 フィットネススタジオ・クリニック・体組成測定実習室  
1階 食堂・ラウンジ・講義室(108)

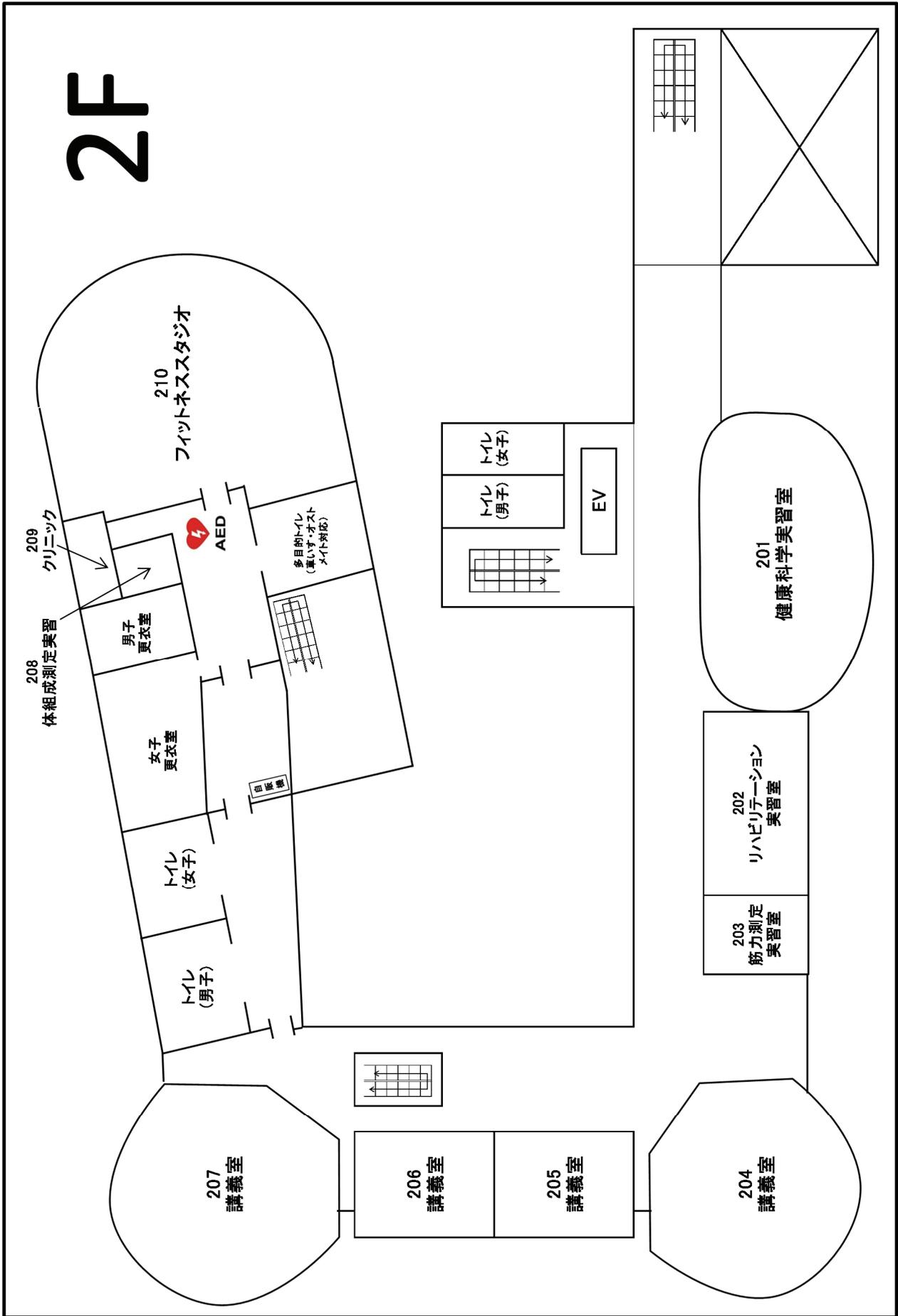
▲エッグドーム  
正門へ



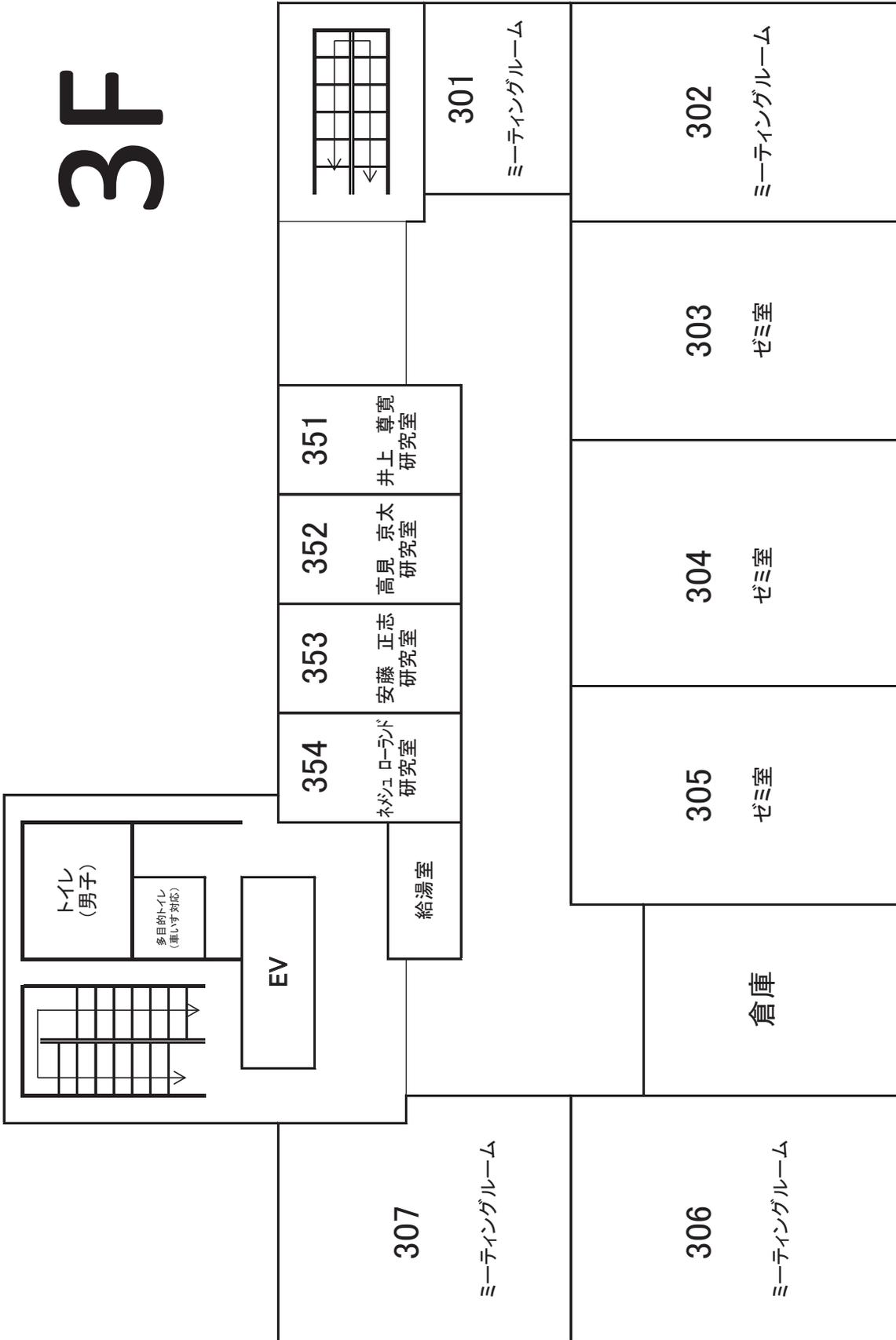
# 1F



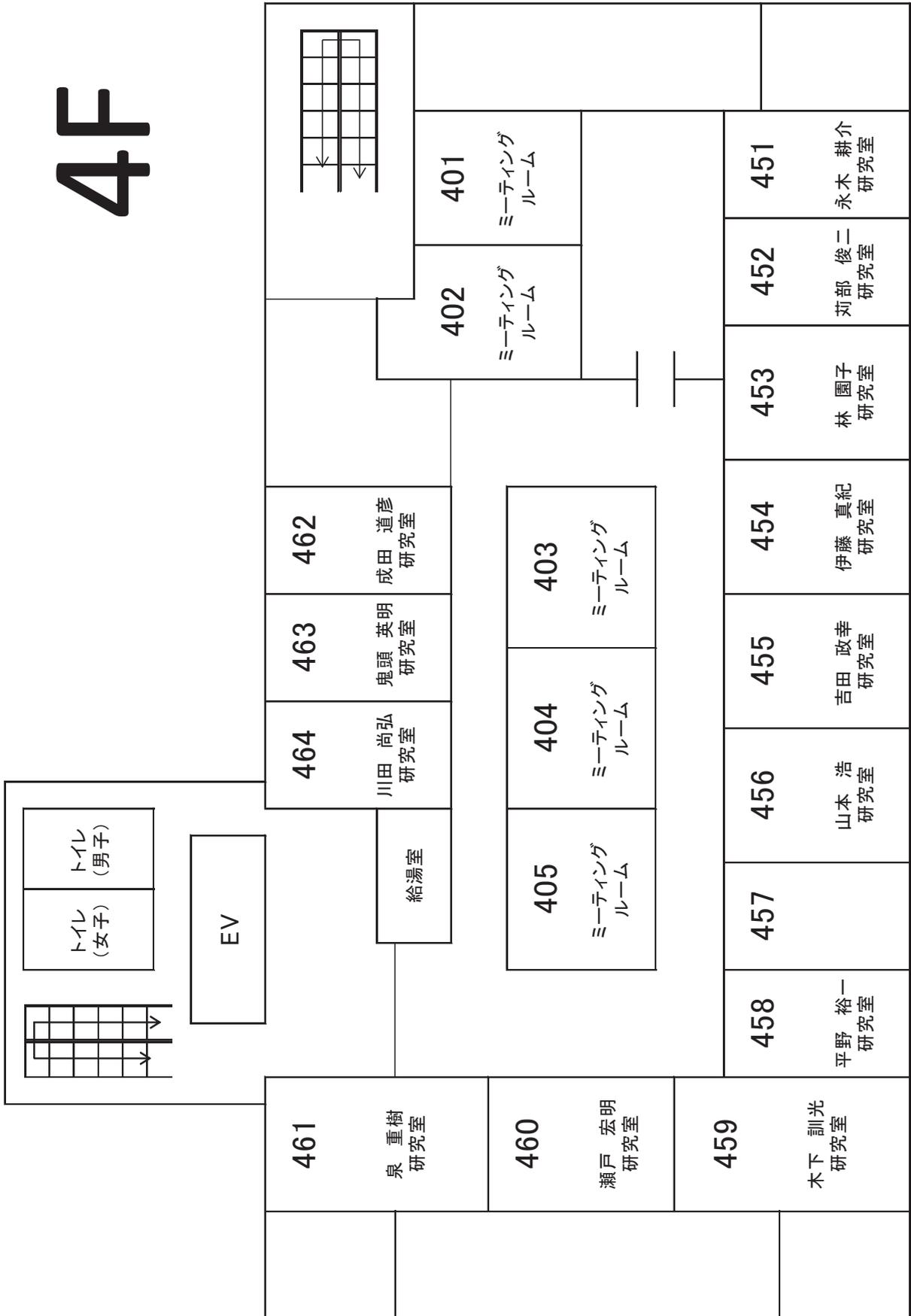
# 2F



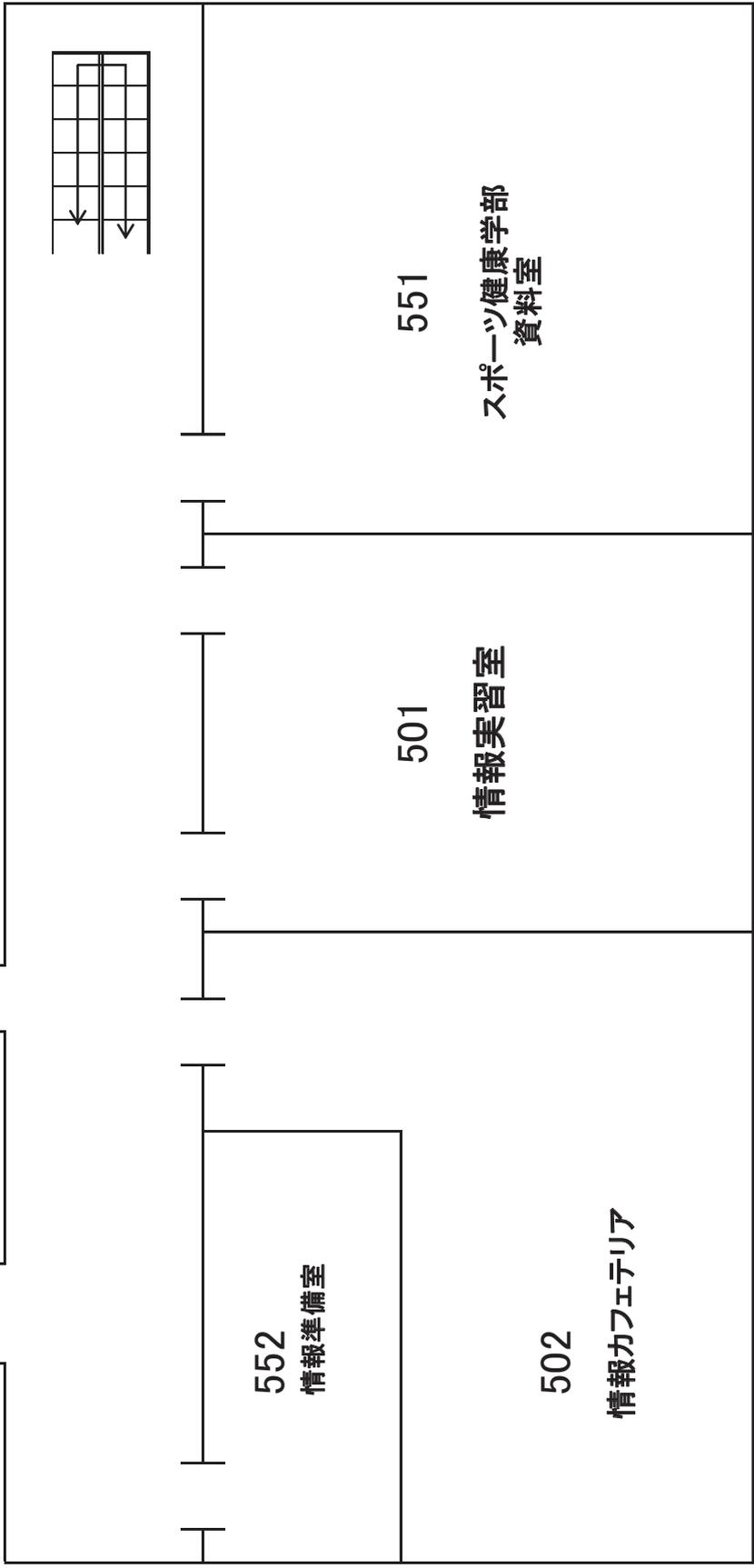
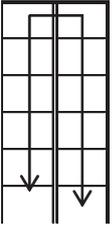
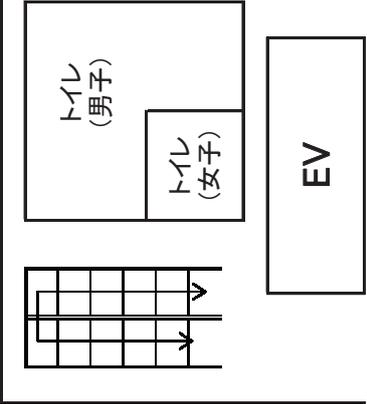
# 3F



# 4F



# 5F



552  
情報準備室

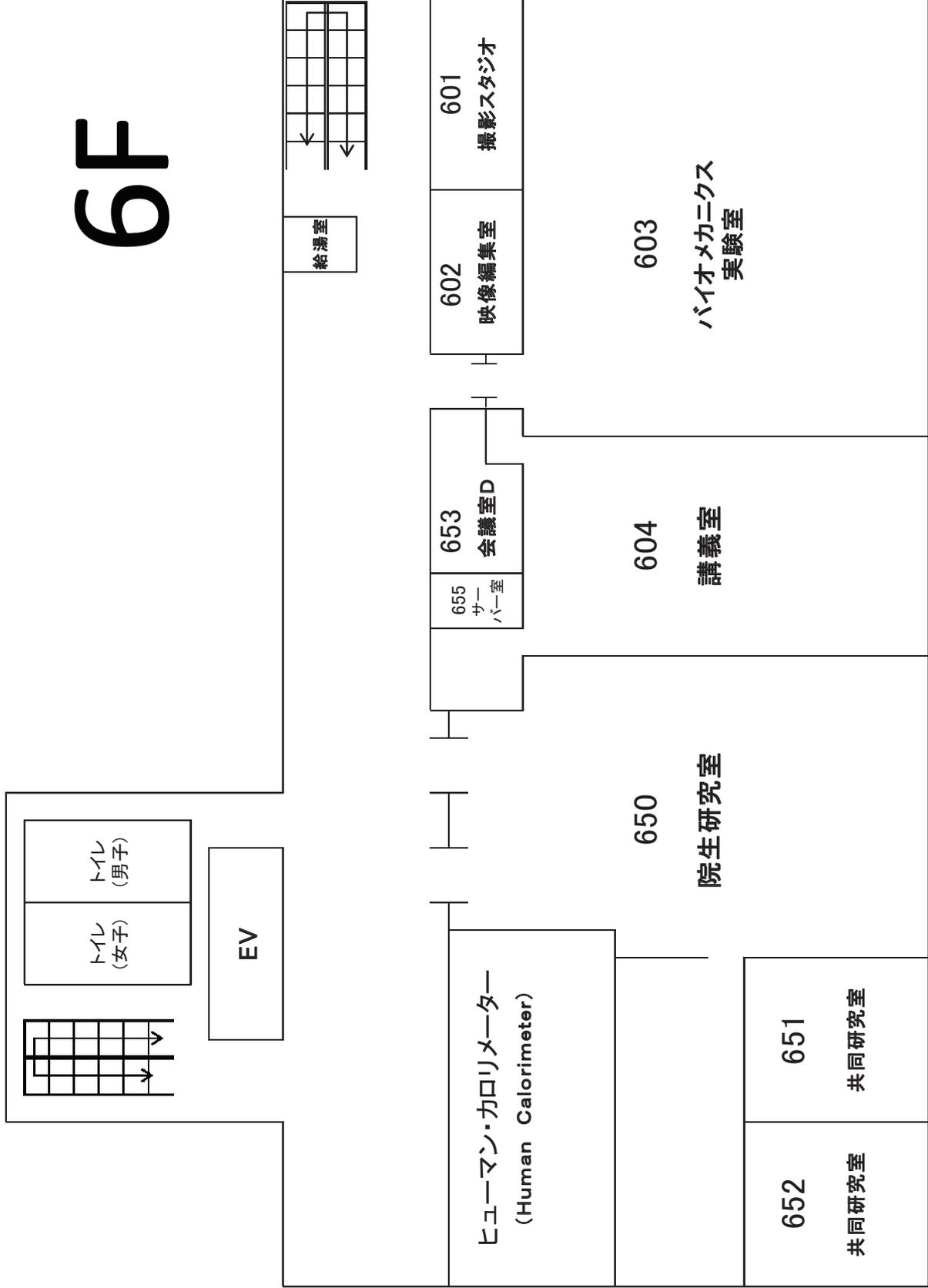
502  
情報カフェテリア

501  
情報実習室

551  
スポーツ健康学部  
資料室



# 6F



# 市ヶ谷キャンパス大学院棟

**全館禁煙**

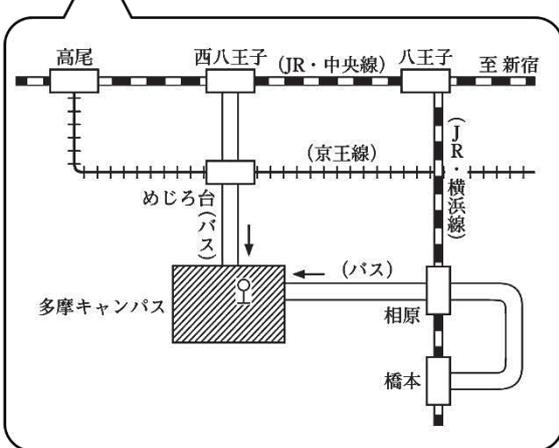
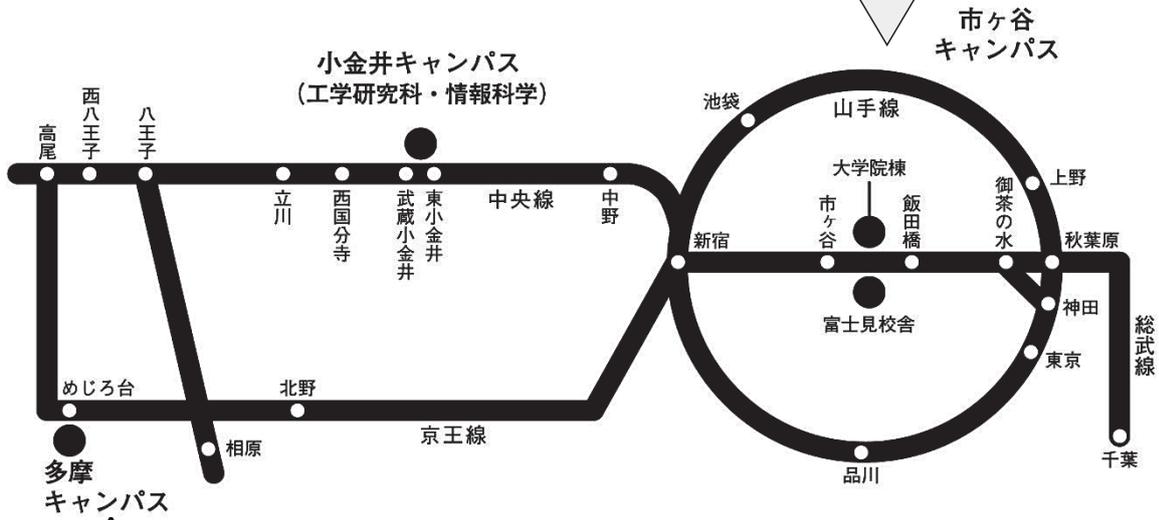
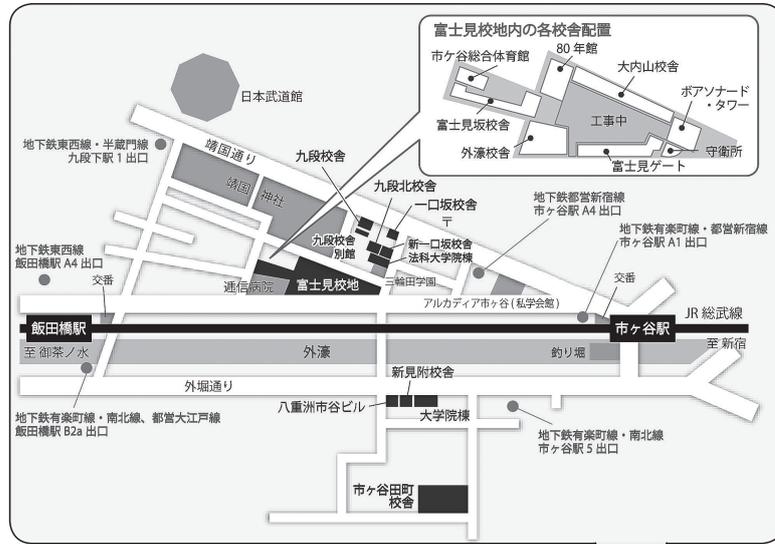
フロアインフォメーション	サービス
13 F 共同研究室E 大学院教員研究室 free ラウンジ	
12 F 経営学専攻室 公共政策学/サステナビリティ学専攻室 A・B 国際政治学専攻室	
11 F 地理学専攻室 政治学専攻室 経済学専攻室	
10 F 法学専攻室 社会学専攻室 哲学専攻室	
9 F 英文学専攻室 日本文学専攻室 史学専攻室	
8 F 教室 (801・802・803・804)	
7 F 教室 (701・702・703・704)	
6 F 教室 (601・602・603・604)	
5 F 教室 (501) 共同研究室 C キャリアデザイン学専攻室	コピーコーナー
4 F 教室 (401・402A・402B) 共同研究室 A	コピーコーナー
3 F 教室 (301・302・303) ラウンジ スタディルーム	掲示板
2 F 教室 (201・202・203) 議長室 教員控室 net ラウンジ 公共政策学/サステナビリティ学専攻室 C 国際文化専攻室 国際日本学インスティテュート室 共同研究室 F	掲示板 コピーコーナー PC プリンタコーナー PC 貸出窓口
1 F 大学院課事務室 ロビー 大学院棟受付 (防災センター)	掲示板 事務窓口 証明書自動発行機 コピーカード販売機 図書返却ボックス 新聞コーナー
B1F 倉庫 機械室 身障者化粧室	

## ■ 教室設備

教室	定員	設備
201	54	AV 機器、プロジェクタ
202	63	AV 機器、プロジェクタ
203	42	AV 機器、プロジェクタ
301	48	AV 機器、プロジェクタ
302	18	AV 機器、液晶ディスプレイ
303	20	AV 機器、液晶ディスプレイ
401	60	AV 機器、プロジェクタ
402A	12	AV 機器、液晶ディスプレイ
402B	18	AV 機器、液晶ディスプレイ
501	36	AV 機器、プロジェクタ
601	48	AV 機器、大型モニター

教室	定員	設備
602	18	AV 機器、液晶ディスプレイ
603	18	AV 機器、液晶ディスプレイ
604	12	AV 機器、液晶ディスプレイ
701	18	AV 機器、液晶ディスプレイ
702	18	AV 機器、液晶ディスプレイ
703	18	AV 機器、液晶ディスプレイ
704	12	AV 機器、液晶ディスプレイ
801	18	AV 機器、液晶ディスプレイ
802	18	AV 機器、液晶ディスプレイ
803	18	AV 機器、液晶ディスプレイ
804	12	AV 機器、液晶ディスプレイ

# 交通案内図



## ●市ヶ谷キャンパス

東京都千代田区富士見 2-17-1

JR

・総武線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10 分

地下鉄

・都営新宿線：市ヶ谷駅下車徒歩 10 分

・東京メトロ有楽町線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10 分

・東京メトロ東西線：飯田橋駅下車徒歩 10 分

・東京メトロ南北線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10 分

・都営大江戸線：飯田橋駅下車徒歩 10 分

## ●多摩キャンパス

東京都町田市相原町 4342

京王線／めじろ台駅下車、バスで約 8 分。

JR／中央線西八王子駅下車、バスで約 18 分。

## ●小金井キャンパス

東京都小金井市梶野町 3-7-2

JR／東小金井駅下車 徒歩 15 分。



**法政大学**  
HOSEI University